

, 2 1

(令和 3 年度)

久 留 米 大 学

医学部医学科シラバス

(医学教育カリキュラム)

令和 3 年 4 月現在のデータです。

日程、講義内容は随時変更されますので、
ご了承ください。

※学生は最新版を電子シラバス (Moodle) で
確認してください。

2021 Practical Clinical English M4

[ダッシュボード](#) / [マイコース](#) / [2021年度](#) / [2021年度・医学科](#) / [1学期](#) / [4年](#) / [2021 Practical Clinical English M4](#)

Practical Clinical English M4

Schedules are subject to change.

【Course Director】

[Atsushi Mizoguchi](#), M.D., Ph.D.

(Department of Immunology)

【Course Co-Director】

[Emiko Mizoguchi](#), M.D., Ph.D.

(Department of Immunology)

【Course Description, Aims】

In this course, students will learn essential [medical](#) English that is required for clinical practice. The deep understanding of essential medicine English imparted by the PCE M4 course will endow students with the requisite knowledge to understand various [medical](#) issue in English.

【Course Objectives】

1. To be familiar with essential [medical](#) terms in English, which are frequently used in clinical practice.
2. To read [medical](#) journals and books, which are written in English.
3. To understand the question written in English for national examination for [medical](#) practitioners.
4. To understand English presentation at Academic meetings.
5. To enjoy international interaction with foreign [medical](#) students and staffs.

参考) 医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版において、本科目が対応する項目

A 医師として求められる基本的な資質・能力

A-7 社会における医療の実践

国際医療への貢献

A-7-2) ①患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。

【Evaluation】

We will comprehensively conduct assessment by the main examination (annual test) and in-class performance (attitude toward learning).

日本医学英語検定試験準3級合格者は、受験資格の取得をもって60点合格とするが、受験も可能である。

また、日本医学英語検定試験3級合格者は受験資格の取得をもって合格とし、点数は科目責任者との面接により決定される。ただし受験も可能である。

詳細は科目責任者に問い合わせること。

【Feedbacks】

Students will receive feedback about the final examination (questions and answers) on this moodle site.

【Course Administrator】

[Nobukazu Komatsu](#), Ph.D.

(Department of Immunology)

Please contact immunology@med.kurume-u.ac.jp or call (0942) 31-7551 (Department of Immunology Office)



[Electronic bulletin board](#)



[Subject database](#)



[Teaching staffs](#)

医学英単語の理解について

（背景）これまでの医師国家試験において英語問題（症例問題）は、80%以上が正答でないと不合格となる必須問題中に2題出題され、配点割合として3%であった。そして、それらの問題の難易度は日本語に翻訳できれば簡単に解ける常識問題であった。

（2020年からの変化）2020年の医師国家試験から英語問題数はこれまでの2倍にあたる4題に増え、問題の内容も難化傾向を認めた。今後は、アメリカ医師国家試験（USMLE）と同等レベルの難易度となり、問題数も増加していくと考えられる。つまり、日本語に翻訳できてもしっかり

した知識がないと解けない問題へと難化することが想定され、これまでのように超必須英単語を覚えているだけでは到底太刀打ちできなくなると考えられる。

（対策）まずは、できるだけ多くの医学英単語を理解しておく必要がある。そこで、Practical Clinical English M2, M3, M4の担当教員が協力して必須医学英単語集を作成した。

（使用方法）約4000単語の日本語訳を調べる。その際、できるだけ長期記憶として留めるため、辞書で英単語の和訳を調べるか、スマートフォンなどで調べる場合は、コピー＆ペーストを使わず一文字ずつ手入力して頭に入れながら意味を調べると良い。

（2年生と3年生）今後、臨床科目の講義を受講する2年生と3年生は知らない単語が多くあるが、「日本語に訳し、この日本語の疾患名や症候は何だろう」と考えるだけでも、今後習う疾患の予習となる。同時に、4年生のPCE本試験までには全て覚えておくべき英単語を早期から記憶できる利点もある。

20th APR 2021 (Tue) Period 3

【Topics】

Communication with patients

【Teaching staff】

[Emiko Mizoguchi](#), M.D., Ph.D.

【Objective】

Practice for Communication.

Conversation between Doctor and Patient in clinics.

【Preparation】

None

21st APR 2021 (Wed) Period 5

【Topics】

[Environmental Medicine](#)

【Teaching staff】

Tatsuya Ishitake, M.D., Ph.D

【Objective】

To learn English terms regarding [environmental medicine](#).

Keywords : [environmental Medicine](#), [occupational medicine](#), [community medicine](#)

【Preparation】

None

27th APR 2021 (Tue) Period 4

【Topics】

Otolaryngology

【Teaching staff】

Takeharu Ono, M.D., Ph.D.

【Objective】

To learn English terms regarding otolaryngology.

【Preparation】

None

21st MAY 2021 (Fri) Period 6

【Topics】

Ophthalmology

【Teaching staff】

Masatoshi Haruta, M.D., Ph.D.

【Objective】

To learn English terms regarding ophthalmology

Keywords : [cataract](#), [glaucoma](#), [retinal detachment](#)

【Preparation】

None

31st MAY 2021 (Mon) Period 7

【Topics】

Public Health

【Teaching staff】

Shin-ichi Tanihara, M.D., Ph.D.

【Objective】

To learn English terms regarding public health.

Keywords : [Public Health Ethics](#), Preventive Medicine, Global Health

【Preparation】

None

10th JUN 2021 (Thu) Period 7

【Topics】

Practice for Medical Writing

【Teaching staff】

Atsushi Mizoguchi, M.D., Ph.D.

【Objective】

To practice for medical writing.

【Preparation】

None

17th JUN 2021 (Thu) Period 2

【Topics】

Dermatology

【Teaching staff】

Keiko Hashikawa, M.D., Ph.D.

【Objective】

To learn English terms regarding dermatology.

Keywords : [atopic dermatitis](#), [psoriasis vulgaris](#), bullous pemphigoid

【Preparation】

None

29th JUN 2021 (Tue) Period 7

【Topics】

Orthopedic Surgery

【Teaching staff】

Kei Yamada, M.D., Ph.D.

【Objective】

To learn English terms regarding orthopedic surgery.

【Preparation】

None

30th JUN 2021 (Wed) Period 7

【Topics】

Clinical Reasoning

【Teaching staff】

Kei Murohara, M.D., Ph.D.

Department of General and Family Medicine, Kurume University Medical Center

mukohk01@gmail.com

【Objective】

To learn clinical reasoning in English

Keywords : history, physical examination, differential diagnosis, problem solving

【Preparation】

None

1st JUL 2021 (Thu) Period 7

【Topics】

Pediatrics 2

【Teaching staff】

Ryuta Nishikomori, M.D., Ph.D.

【Objective】

To learn English terms regarding pediatrics.

Keywords : [Health checkup](#), [Immunization](#), Growth & Development, [Pediatric trauma](#)

【Preparation】

None

7th JUL 2021 (Wed) Period 4

【Topics】

Oncology

【Teaching staff】

Nobukazu Komatsu, Ph.D.

【Objective】

がんに関連した医学英単語を理解できる

がん（及びがん治療）について英語の資料を読み・聞き内容を理解できる

【Preparation】

「[腫瘍学](#)」の講義内容について復習しておく。

8th JUL 2021 (Thu) Period 7

【Topics】

Summary

【Teaching staff】

Emiko Mizoguchi, M.D., Ph.D.

【Objective】

Summary of Basic Medical Vocabulary

Summary of Medical Abbreviations

【Preparation】

None

9th JUL 2021 (Fri) Period 3

【Topics】

Appendicitis and Cholelithiasis

【Teaching staff】

Yosuke Adachi, M.D., Ph.D.

【Objective】

To learn English terms regarding outpatient care.

Keywords : [abdominal pain](#)

【Preparation】

None

9th JUL 2021 (Fri) Period 4

【Topics】

Gastrointestinal hemorrhage and Breast cancer

【Teaching staff】

Yosuke Adachi, M.D., Ph.D.

【Objective】

To learn English terms regarding outpatient care.

Keywords : bloody [stool](#), breast lump

【Preparation】

None

9th JUL 2021 (Fri) Period 5

【Topics】

Endocrinology 2

【Teaching staff】

Shimpei Iwata, M.D., Ph.D.

【Objective】

To learn English terms regarding endocrinology.

Keywords : [Diabetes](#), [Obesity](#), [Metabolism](#), [Insulin](#)

【Preparation】

None

試験問題・解答（本試験）

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト)

[Home](#)

[日本語 \(ja\)](#)

[English \(en\)](#)

[日本語 \(ja\)](#)

[モバイルアプリを取得する](#)

2021 社会と医学・医療（環境医学）

[ダッシュボード](#) / [マイコース](#) / [2021年度](#) / [2021年度・医学科](#) / [1学期](#) / [4年](#) / [2021 社会と医学・医療（環境医学）](#)

社会と医学・医療（環境医学）

■[講義トップページへ](#)■ ■[実習トップページへ](#)■

新着情報

2021年〇月〇日

本コースの詳細

【統括責任者】

石竹 達也

【何を学ぶか】

- ・生活習慣（食生活を含む）とそのリスクについて学ぶ。
- ・社会と健康・疾病との関係を理解し、個体及び集団をとりまく環境諸要因の変化による個人の健康と社会生活への影響について学ぶ。
- ・地域医療・地域保健の在り方と現状及び課題を理解し、地域医療に貢献するための能力を獲得する。
- ・限られた医療資源の有効活用の視点を踏まえ、保健・医療・福祉・介護の制度の内容を学ぶ。

【獲得すべき能力（全体）】

「医療は医学の社会的適応である」ことを理解し、個人や集団の疾病を予防し、健康を保持増進させるために、常に予防医学と公衆衛生活動に関心と理解を持ち、それを実践できる医師を目指す。

【獲得すべき能力（個別）】

[医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版\(環境医学\)](#) 参照

【身に付けてほしい能力】

「医療は医学の社会的適応である」ことを理解し、個人や集団の疾病を予防し、健康を保持増進させるために、常に予防医学と公衆衛生活動に関心と理解を持ち、それを実践できる医師を目指す。

そのための学び方

- ・医学生として、国際レベルの社会医学的視点を身につけることの意義、重要性を十分に理解し、自らの興味を持って、講義に臨む。
- ・カリキュラムブックで事前に講義内容を把握し、国民衛生の動向最新版及び参考図書を予習して講義に臨む。
- ・講義内容を十分に理解して、不明な点は積極的に質問する。
- ・講義で学んだ知識を用いて、医療関連の報道内容等の理解に努め、実際に使える知識とする。

【評価方法】

課題レポート（出席）、筆記試験で評価を行う。

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

内容の到達度や理解が不十分な場合、再試験や再提出を求める。

【問い合わせ】

1. kankyo@med.kurume-u.ac.jp
2. 0942-31-7552（内線 3386）
3. 環境医学講座（基礎二号館5F）

【講義スケジュール表】

* 講義開始前に必ず確認しておくこと *

本ページの「社会と医学・医療(環境医学)」および「社会と医学・医療(環境医学)実習」
両方のページをチェックしていきましょう

 [質疑応答掲示板](#)

 [指定・参考図書](#)

 [医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版\(環境医学\)](#)

 [科目評価\(新\)](#)

新着情報

〇月〇日(〇) 00:00 更新

4/5 (月) 5 限

【単元】

社会・環境と健康

【講義担当者】

石竹 達也

【学習目標各論】

- ① 世界保健機関（WHO）の健康の社会的決定要因について列举できる。
- ② 健康増進（ヘルスプロモーション）について説明できる。
- ③ 社会的処方考え方を理解することができる。

【準備学習】

参考図書の該当箇所の事前チェックを行う。

4/5 (月) 6 限

【単元】

産業保健(総論)

【講義担当者】

石竹 達也

【学習目標各論】

- ① 産業保健の目的について説明できる。
- ② 産業保健に係る法律について説明できる。
- ③ 労働安全衛生法に基づく管理体制について説明できる。
- ④ 産業保健活動の3管理について説明できる。
- ⑤ 産業医の資格や職務について説明できる。

【準備学習】

参考図書の該当箇所の事前チェックを行う。

4/5（月） 7限

【単元】

産業保健(総論)

【講義担当者】

石竹 達也

【学習目標各論】

- ① わが国の労働災害の現状を説明できる。
- ② わが国の業務上疾病の動向について説明できる。
- ③ 職場の健康診断の種類と内容について説明できる。
- ④ 国が進める働き方改革の内容について説明できる。

【準備学習】

参考図書の該当箇所の事前チェックを行う。

4/6（火） 3限

【単元】

産業保健 化学的要因

【講義担当者】

合志 清隆

【学習目標各論】

- ・有機溶剤中毒の病態と予防について説明できる
- ・職場で規定されている化学物質について説明できる

4/6（火） 4限

【単元】

産業保健 物理的要因

【講義担当者】

合志 清隆

【学習目標各論】

- ・熱中症の発生状況と予防対策について説明せよ
- ・異常気圧下の健康障害について説明せよ

4/6（火） 5限

【単元】

産業保健 職場の健康増進

【講義担当者】

森松 嘉孝

【学習目標各論】

- ・ 職場における健康増進の目的と方法について説明できる。
- ・ THPについて説明できる。

【準備学習】

参考図書の該当部分に目を通しておく。

4/6（火） 6限、7限

【単元】

産業保健 産業医の役割

【講義担当者】

高本 哲郎

【学習目標各論】

産業衛生における産業医の位置づけ・役割を理解し、業務内容を説明できる。

【準備学習】

参考図書の該当箇所の事前チェックを行う。

4/7（水） 3限、4限

【単元】

産業保健 メンタルヘルス

【講義担当者】

江崎 高史

【学習目標各論】

- ・ 職場でのメンタルヘルスの問題の背景を理解する。
- ・ 事業場におけるメンタルヘルス対策を説明できる。

【準備学習】

参考図書の該当箇所の事前チェックを行う。

4/7（水） 5限

【単元】

産業保健 雇用と健康

【講義担当者】

森松 嘉孝

【学習目標各論】

- ・ 雇用者のルールについて、説明できる。

- ・被雇用者の義務を説明できる。
- ・外国人労働者の資格と我が国の受け入れ態勢について説明できる。

【準備学習】

外国人労働者に関するニュースに目を通しておく。

4/8（木） 3限

【単元】

産業保健 産業疲労と産業ストレス

【講義担当者】

森松 嘉孝

【学習目標各論】

- ・産業疲労について、説明できる。
- ・産業ストレスについて説明できる。

【準備学習】

疲労とストレスに関する、新聞やソーシャルメディアの情報に目を通しておく。

4/8（木） 4限

【単元】

トピックス：社会的処方について

【講義担当者】

石竹 達也

【学習目標各論】

- ① 健康の社会的決定要因と社会的処方
- ② 社会的処方 病院の取組
- ③ 社会的処方 診療所の取組
- ④ 英国における社会的処方

【準備学習】

参考図書の該当箇所の事前チェックを行う。

4/8（木） 5限、6限

【単元】

環境保健 総論

【講義担当者】

原 邦夫

【学習目標各論】

- ・環境保健学を説明できる
- ・環境基本法、環境影響評価法などの関連法規について概要を説明できる。

【準備学習】

参考図書の該当箇所の事前チェックを行う。

4/8（水） 7限

【単元】

環境保健（リスクアセスメントの基礎）

【講義担当者】

増田 宏

【学習目標各論】

物理化学因子が及ぼす健康影響を評価する上で基礎となる考え方を学ぶ。

- ・ リスクとはなにかについて理解する。
- ・ リスクの見積もり方を理解する。
- ・ ガイドラインについて理解する。

【準備学習】

公衆衛生が見える（産業保健－労働安全衛生法の章）

4/9（金） 3限、4限

【単元】

食品保健

【講義担当者】

石竹 達也

【学習目標各論】

- ・ 食品衛生法の概要について説明できる。
- ・ 食品添加物の定義や表示法を理解する。
- ・ 食中毒について説明できる。

【準備学習】

参考図書の該当箇所の事前チェックを行うこと。

4/9（金） 5限

【単元】

健康の保持増進・国民栄養

【講義担当者】

森 美穂子

【学習目標各論】

- ・ 国民栄養の現状と課題について説明できる。

- ・国民健康栄養調査について説明できる。
- ・食事摂取基準について説明できる。

【準備学習】

参考図書の該当箇所の事前チェックを行う。

4/9（金） 6限、7限

【単元】

精神保健

【講義担当者】

安藤 英雄

【学習目標各論】

- ・「精神保健および精神障害者福祉に関する法律」(精神保健福祉法)について説明できる
- ・精神科における入院形態について説明できる
- ・精神科診療における行動制限が説明できる
- ・「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」(医療観察法)が説明できる

【準備学習】

参考図書の該当箇所の事前チェックを行う。

4/12（月） 3限

【単元】

環境保健 居住環境と健康

【講義担当者】

森 美穂子

【学習目標各論】

- ・シックビル症候群、シックハウス症候群について説明できる。

【準備学習】

参考図書の該当箇所の事前チェックを行う。

4/13（火） 3限

【単元】

環境保健 水・廃棄物

【講義担当者】

森 美穂子

【学習目標各論】

- ・上水道における水質基準と浄水法について説明できる。

- ・水質汚濁の現状および下水処理の方法について説明できる
- ・廃棄物の種類および現状について説明できる

【準備学習】

参考図書の該当箇所の事前チェックを行う。

4/14（木） 3限

【単元】

環境保健 物理的環境因子の生体影響

【講義担当者】

増田 宏

【学習目標各論】

物理的環境因子の及ぼす生体影響およびその取扱について身近な例（電磁界等）をもとに学習する

【準備学習】

<参考資料>

- ・電波と安心な暮らし（総務省発行）

[知っておきたい身近な電波の知識](#)

[携帯電話端末とわたしたちの暮らし](#)

- ・電磁界情報センターパンフレット

[なっとく電磁波](#)

4/15（木） 3限

【単元】

環境保健 大気と健康

【講義担当者】

森松 嘉孝

【学習目標各論】

- ・環境基準とその達成状況について説明できる
- ・大気汚染対策について説明できる

【準備学習】

最近の大気汚染に関する話題に関して、インターネット等に目を通しておく。

参考図書の該当箇所の事前チェックを行う。

4/16（金） 3限

【単元】

地域保健① 概論

【講義担当者】

石竹 達也

【学習目標各論】

- ① 地域保健の歴史について説明できる。
- ② 地区診断を行う際に必要な情報を列挙できる。
- ③ プライマリ・ケア・システムについて説明できる。
- ④ アルマ・アタ宣言について説明できる。
- ⑤ オタワ憲章について説明できる。

【準備学習】

参考図書の該当箇所の事前チェックを行う。

4/16（金） 4限

【単元】

地域保健 概論②

【講義担当者】

石竹 達也

【学習目標各論】

- ① 地域社会における医療の状況を説明できる。
- ② 地域包括ケアシステムについて説明できる。
- ③ 地域医療構想について説明できる。

【準備学習】

参考図書の該当箇所の事前チェックを行う。

4/16（金） 5限

【単元】

地域保健③ 在宅医療

【講義担当者】

森松 嘉孝

【学習目標各論】

- ・地域医療連携と在宅医療について説明できる。
- ・在宅ホスピスケアの現状について説明できる。

【準備学習】

市内の高齢者がどのような医療を受けているか、調べておく。

4/16（金） 6限、7限

【単元】

地域保健 保健所の業務

【講義担当者】

内藤 美智子

【学習目標各論】

- ・保健所の主な業務について理解する。
- ・地域保健法について説明ができる。
- ・県型保健所と市町村保健所(保健センター)の違いが説明できる。

【準備学習】

参考図書の該当箇所の事前チェックを行う。

4/19（月） 3限

【単元】

地域医療 救急医療

【講義担当者】

森松 嘉孝

【学習目標各論】

- ・離島やへき地の医療体制について説明できる。
- ・災害時における公衆衛生とは何か，説明できる。

【準備学習】

救急医療のシステムや現場の問題点について、調べておく。

試験問題・解答（本試験）

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト)
[Home](#)

[日本語 \(ja\)](#)
[English \(en\)](#)
[日本語 \(ja\)](#)

[モバイルアプリを取得する](#)

2021 社会と医学・医療（環境医学）実習

[ダッシュボード](#) / [マイコース](#) / [2021年度](#) / [2021年度・医学科](#) / [実習](#) / [4年](#) / [2021 社会と医学・医療（環境医学）実習](#)

社会と医学・医療（環境医学）実習

■[講義トップページへ](#)■ ■[実習トップページへ](#)■

新着情報

〇月〇日(〇) 00:00 更新

【本実習コースの詳細】

【統括責任者】

石竹 達也

【何を学ぶか】

「社会と医学・医療」の講義と実習を関連させて学習することで、社会医学的視野を持った医師となるために必要な環境医学の知識や方法論を学ぶ。テーマ研究では、職場と生活環境に関連した社会的課題を取り上げ、問題解決に取り組み、スキルを身につける。

【獲得すべき能力】

テーマ研究：社会と医学・医療に関するテーマについて、資料収集、研究計画の立案、得られた結果の分析・整理の一連の作業を通して、問題解決の姿勢と態度を身につける。

【身に着けてほしい能力】

問題解決およびそれをまとめるスキルを身につける。

【評価方法】

ポートフォリオ、ポスターで評価を行う。

毎回のポートフォリオの提出状況および内容、最終ポートフォリオの完成度、最終ポスターの完成度より個人評価を行う

実習に対して、目的を理解し、事前に学習して積極的に取り組む。

テーマ研究では、研究計画を良く検討し、必要に応じてメールで担当教員の指導を受ける。得られた結果の分析を十分に行い、現実的な問題解決方法を見出す。

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

内容の到達度や理解が不十分な場合、再試験や再提出を求める。

【問い合わせ】 実習に関する相談は各担当教員まで

石竹達也(教授) kankyo.ishitake@gmail.com

森松嘉孝(准教授) kankyo.morimatsu@gmail.com

森美穂子 (講師) kankyo.morimihoko@gmail.com (教育主任)

増田宏 (助教) kankyo.masuda@gmail.com

小笠原尚之(大学院生) kankyo.ogasawara@gmail.com

 [英語DB](#)

 [科目評価\(新\)](#)

ポートフォリオ提出場所

利用できません。

4/5（月） 3限

【単元】

オリエンテーション

【講義担当者】

森 美穂子

【学習目標各論】

社会と医学・医療(環境医学)の講義および実習について、目的および実習方法について理解する。

4/5（月） 4限

【単元】

プレゼンテーション実習

【講義担当者】

増田 宏

【学習目標各論】

効果的なプレゼンテーションの技法を身に付け、テーマ研究発表会に活かす。

4/7（水） 6~8限

【単元】

産業医学実習・職場巡視

【講義担当者】

環境医学スタッフ

【学習目標各論】

産業医が行う職場巡視に関する資料をもとに、課題を提出する。

4/12（月） 4限～8限

【単元】

環境測定実習／テーマ研究

【講義担当者】

環境医学スタッフ

【学習目標各論】

産業医学実習：環境測定（1～6班）

4限 実習説明

5限～7限 測定実習

8限 測定結果をまとめ、小グループに分かれて発表と議論を行う

テーマ研究（7～24班）

4限～7限 グループディスカッション

8限 テーマ研究ふり返り、まとめ

* 当日のテーマ研究の成果をポートフォリオにまとめ、16：50～17：00に提出する

【準備学習】

産業医学実習：実習書の関連事項について、参考書で事前学習を行う。

テーマ研究：新聞、雑誌、書籍等で研究に関連する資料を準備し、読んでおく。

 [環境測定4月12日レポート提出場所](#)

 [テーマ研究4月12日ポートフォリオ提出場所](#)

4/13(火) 4限～8限

【単元】

環境測定実習／テーマ研究

【講義担当者】

環境医学スタッフ

【学習目標各論】

産業医学実習：環境測定（7～12班）

4限 実習説明

5限～7限 測定実習

8限 測定結果をまとめ、小グループに分かれて発表と議論を行う

テーマ研究（1～6班、13～24班）

4限～7限 グループディスカッション

8限 テーマ研究ふり返り、まとめ

* 当日のテーマ研究の成果をポートフォリオにまとめ、16：50～17：00に提出する

【準備学習】

産業医学実習：実習書の関連事項について、参考書で事前学習を行う。

テーマ研究：新聞、雑誌、書籍等で研究に関連する資料を準備し、読んでおく。

 [環境測定4月13日レポート提出場所](#)

 [テーマ研究4月13日ポートフォリオ提出場所](#)

4/14(水) 4限～8限

【単元】

環境測定実習／テーマ研究

【講義担当者】

環境医学スタッフ

【学習目標各論】

産業医学実習：環境測定（13～18班）

4限 実習説明

5限～7限 測定実習

8限 測定結果をまとめ、小グループに分かれて発表と議論を行う

テーマ研究（1～12班、19～24班）

4限～7限 グループディスカッション

8限 テーマ研究ふり返り、まとめ

* 当日のテーマ研究の成果をポートフォリオにまとめ、16：50～17：00に提出する

【準備学習】

産業医学実習：実習書の関連事項について、参考書で事前学習を行う。

テーマ研究：新聞、雑誌、書籍等で研究に関連する資料を準備し、読んでおく。

 [環境測定4月14日レポート提出場所](#)

 [テーマ研究4月14日ポートフォリオ提出場所](#)

4/15（木） 4限～8限

【単元】

環境測定実習／テーマ研究

【講義担当者】

環境医学スタッフ

【学習目標各論】

産業医学実習：環境測定（19～24班）

4限 実習説明

5限～7限 測定実習

8限 測定結果をまとめ、小グループに分かれて発表と議論を行う

テーマ研究（1～23班）

4限～7限 グループディスカッション

8限 テーマ研究ふり返り、まとめ

*当日のテーマ研究の成果をポートフォリオにまとめ、16：50～17：00に提出する

【準備学習】

産業医学実習：実習書の関連事項について、参考書で事前学習を行う。

テーマ研究：新聞、雑誌、書籍等で研究に関連する資料を準備し、読んでおく。

 [環境測定4月15日レポート提出場所](#)

 [テーマ研究4月15日ポートフォリオ提出場所](#)

4/19（月） 4～8限

【単元】

テーマ研究

【講義担当者】

環境医学スタッフ

【学習目標各論】

テーマ研究発表会（前半）

【準備学習】

発表時間を守り、スムーズに発表できるよう、しっかり練習しておく

他班の発表を聞いて、きちんと評価する

4/20（火） 4～8限

【単元】

テーマ研究

【講義担当者】

環境医学スタッフ

【学習目標各論】

テーマ研究発表会（後半）

【準備学習】

発表時間を守り、スムーズに発表できるよう、しっかり練習しておく

他班の発表を聞いて、きちんと評価する

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト)

[Home](#)

[日本語 \(ja\)](#)

[English \(en\)](#)

[日本語 \(ja\)](#)

[モバイルアプリを取得する](#)

2021 社会と医学・医療（公衆衛生学）

[ダッシュボード](#) / [マイコース](#) / [2021年度](#) / [2021年度・医学科](#) / [1学期](#) / [4年](#) / [2021 社会と医学・医療（公衆衛生学）](#)

社会と医学・医療（公衆衛生学）

【統括責任者】

谷原 真一

【何を学ぶか】

- ・[疫学](#)の基礎理論を学び、[疫学](#)で用いられる主要な指標の意味と計算方法を理解する。
- ・状況に応じて適切な[疫学](#)的調査方法や[疫学](#)的指標の選択を可能とする能力を獲得する。
- ・医療現場での意思決定において、入手可能な最善の医学知見を用い、適切な意思決定を行うための方法を身に付ける。
- ・保健・医療・福祉・介護に関する公的統計の種類と現状について学ぶ。
- ・主要な疾病とそのリスクファクターについて学び、[疫学](#)を疾病予防に活用するための能力を獲得する。
- ・地域医療・地域保健の現状及び課題を理解し、地域医療に貢献するための能力を獲得する。
- ・限られた医療資源の有効活用の視点を踏まえた上で、保健・医療・福祉・介護の制度の内容を学ぶ。
- ・[国際保健](#)の現状と課題及び関連する機関・制度について学ぶ。

【獲得すべき能力（全体）】

・現実世界における疾病発生要因は多岐にわたる。将来、医師となったときに、これらの関係を把握した上で疾病の予防や治療に関する適切な意思決定を行うことができる能力を獲得する。

【獲得すべき能力（個別）】

[疫学](#)の基礎

[疫学](#)的手法の適用

根拠に基づいた医療<[EBM](#)>

- ①根拠に基づいた医療<[EBM](#)>の5つのステップを列挙できる。
- ②Patient, [population](#), problem, intervention (exposure), comparison, [outcome](#) <PICO (PECO)>を用いた問題の定式化ができる。
- ③研究デザイン（[観察研究](#)（記述研究、[横断研究](#)、[症例対照研究](#)、[コホート研究](#)）、[介入研究](#)（臨床研究、[ランダム化比較試験](#)）、システマティックレビュー、[メタ分析](#)（メタアナリシス））を概説できる。
- ④データベースや二次文献からのエビデンス、診療ガイドラインを検索することができる。
- ⑤得られた情報の[批判的吟味](#)ができる。

[疫学](#)と予防医学

- ①人口統計（人口静態と人口動態）、疾病・障害の分類・統計（[国際疾病分類\(International Classification of Diseases <ICD>\)](#)等）を説明できる。
- ②[平均寿命](#)、[健康寿命](#)を説明できる。
- ③[罹患率](#)と[有病率](#)の違いを説明できる。
- ④[疫学](#)とその応用（[疫学](#)の概念、[疫学](#)指標（リスク比、リスク差、[オッズ比](#)）とその比較（年齢調整率、[標準化死亡比\(standardized mortality ratio <SMR>\)](#)）、バイアス、[交絡](#)）を説明できる。
- ⑤[スクリーニング検査](#)、[診断学的検査](#)の意義と目標、基準値・[カットオフ値](#)の意味が説明できる。
- ⑥検査の特性（[感度](#)、[特異度](#)、偽陽性、偽陰性）、検査前確率（事前確率）、検査後確率（事後確率）、[尤度比](#)、receiver operating characteristic <ROC>曲線を説明できる。
- ⑦臨床[疫学](#)的指標を考慮し、科学的根拠に基づいた検査法の選択、臨床判断ができる。
- ⑧[予防医学](#)（一次、二次、三次予防）と健康保持増進（健康管理の概念・方法、健康診断・診査と事後指導）を概説できる。

生活習慣とリスク

- ①基本概念（国民健康づくり運動、[生活習慣病](#)とリスクファクター、[健康寿命](#)の延伸と[生活の質 \(quality of life <QOL>\)](#)向上、行動変容、健康づくり支援のための環境整備等）を説明できる。
- ②食生活、身体活動、運動と健康の関連を説明できる。
- ③喫煙（状況、有害性、[受動喫煙](#)防止、禁煙支援）、飲酒（状況、有害性、アルコール[依存症](#)からの回復支援）を説明できる。

地域医療・地域保健

- ①地域社会（へき地・離島を含む）における医療の状況、医師の偏在（地域および診療科）の現状について概説できる。
- ②医療計画（医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病診連携、病病連携、病院・診療所・薬局の連携等）及び地域医療構想を説明できる。
- ③地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における、保健（[母子保健](#)、学校保健、成人・高齢者保健、地域保健、[精神保健](#)）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。

④地域における、救急医療、在宅医療および離島・へき地医療の体制を説明できる。

⑤災害医療（災害時保健医療、医療救護班、[災害派遣医療チーム<DMAT>](#)、[災害派遣精神医療チーム<DPAT>](#)、[日本医師会災害医療チーム<JMAT>](#)、災害拠点病院、[トリアージ](#)等）について説明できる。

保健・医療・福祉・介護の制度

①日本における[社会保障](#)制度と医療経済（国民医療費の収支と将来予測）を説明できる。

②[医療保険](#)、介護保険および公費医療を説明できる。

③高齢者福祉と高齢者医療の特徴を説明できる。

④医療の質の確保（病院機能評価、[国際標準化機構](#)(International Organization for [Standardization](#) <ISO>)、医療の質に関する評価指標、患者満足度、患者説明文書、同意書、同意撤回書、クリニカルパス等）を説明できる。

⑤医師法、医療法等の医療関連法規を概説できる。

⑥医療関連法規に定められた医師の義務を列挙できる。

⑦医療における費用対効果分析を説明できる。

⑧[感染症](#)法の概要と届出義務を説明できる。

⑨[予防接種](#)の意義と現状を説明できる。

⑩[精神保健](#)医療福祉の現状について説明できる。

国際保健

①世界の保健・医療問題（[母子保健](#)、[感染症](#)、[非感染性疾患\(non-communicable diseases](#) <NCD>)、[UHC \(Universal Health Coverage\)](#)、保健システム（医療制度）、保健関連 SDG ([Sustainable Development Goals](#))）を概説できる。

②[国際保健](#)・医療協力（国際連合(United Nations <UN>)、[世界保健機関\(World Health Organization](#) <WHO>)、[国際労働機関\(International Labour Organization](#) <ILO>)、[国連合同エイズ計画\(The Joint United Nations Programme on HIV/AIDS](#) <UNAIDS>)、[世界エイズ・結核・マラリア対策基金\(The Global Fund to Fight AIDS, Tuberculosis and Malaria](#) <GF>)、[GAVI](#) アライアンス(The Global Alliance for Vaccines and [Immunization](#) <GAVI>)、[国際協力機構 \(Japan International Cooperation Agency](#) <JICA>)、[政府開発援助](#) (Official Development Assistance <ODA>)、[非政府組織\(Non-Governmental Organization](#) <NGO>)）を列挙し、概説できる。

【身に着けてほしい能力】

社会における医療の役割に関連する法規や行政機構について学び、エビデンスに基づく意思決定を行うための能力を身につけた上で、臨床医学上の課題と[公衆衛生](#)学を関連付けることができること。

【評価方法】

筆記試験と実習の評価を合わせて評価する。

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

【問い合わせ】

内容の質問については、kurumemedpublichealth@gmail.com

その他はnakao_motoyuki@med.kurume-u.ac.jp（中尾 元幸）

0942-31-7553（内線 3406）

[公衆衛生](#)学講座（基礎二号館5F東側、エレベーターを降りて左奥の北側が受付）

【その他】

講義資料はその都度、配布します。

 [質疑応答掲示板](#)

 [科目DB](#)

 [指定・参考図書](#)

 [英語DB](#)

 [用語集](#)

 [科目評価（新）](#)

4月26日（月） 1 限

【単元】

1. [公衆衛生](#)学概論

【講義担当者】

谷原 真一

【学習目標各論】

- ・国内外の[公衆衛生学](#)の歴史について説明できる。
- ・[公衆衛生学](#)の概論が説明できる。

【準備学習】

4月26日（月） 2 限

【単元】

2. [疫学](#)の概念、統計解析の基礎と[疫学](#)的尺度

【講義担当者】

谷原 真一

【学習目標各論】

- ・[疫学](#)を概説できる。
- ・疾病の定義・分類・統計（[国際疾病分類（ICD）](#)等）を説明できる。
- ・[疫学](#)的尺度（[罹患率](#)、[有病率](#)等）を説明できる。
- ・[疫学](#)研究手法の概要を説明できる。
- ・[疫学](#)的[因果関係](#)を説明できる。
- ・[疫学](#)で必要とされる統計の基礎を身に付け、正しい統計手法の適用ができる。

【準備学習】

参考図書等の当該項目を予習すること。

4月27日（火） 1 限

【単元】

3. [疫学](#)研究法〈①[コホート研究](#)〉

【講義担当者】

中尾 元幸

【学習目標各論】

- ・[疫学](#)研究の各種研究デザインについて説明できる。
- ・[コホート研究](#)について説明できる。
- ・リスク比（[相対危険度](#)）、リスク差（[寄与危険度](#)）、[寄与危険割合](#)について説明できる。

【準備学習】

参考図書等の当該項目を予習すること。

4月27日（火） 2 限

【単元】

4. [疫学](#)研究法〈②[症例対照研究](#)〉

【講義担当者】

中尾 元幸

【学習目標各論】

- ・ [症例対照研究](#)について説明できる。
- ・ [コホート研究](#)との違いを説明できる。
- ・ [オッズ比](#)、[寄与危険割合](#)、[交絡](#)について説明できる。
- ・ バイアスとその対応について説明できる。

【準備学習】

参考図書等の当該項目を予習すること。

4月28日（水） 3 限

【単元】

5. [公衆衛生](#)と法①

【講義担当者】

谷原 真一

【学習目標各論】

- ・ 医師法・医療法等の医療関連法規を概説できる。
- ・ 医療関連法規に定められた医師の義務を列举できる。

【準備学習】

参考図書等の当該項目を予習すること。

4月28日（水） 4 限

【単元】

6. [公衆衛生](#)と法②

【講義担当者】

谷原 真一

【学習目標各論】

- ・ その他の[公衆衛生](#)に係る法規について概説することができる。

【準備学習】

参考図書等の当該項目を予習すること。

5月6日（木） 1 限

【単元】

7. [EBM](#)の基本①

【講義担当者】

中尾 元幸

【学習目標各論】

- ・ [疫学](#)と臨床[疫学](#)の違いを説明できる。
- ・ [EBM](#)とは何かを説明できる。
- ・ [EBM](#)の5つのステップを列挙できる。
- ・ 〈PICO〉を用いた問題の定式化ができる。

【準備学習】

参考図書等の当該項目を予習すること。

5月6日（木） 2 限

【単元】

8. [EBM](#)の基本②

【講義担当者】

中尾 元幸

【学習目標各論】

- ・ 研究デザインについて概説できる。
- ・ 得られた情報の[批判的吟味](#)ができる。
- ・ データベースや文献からエビデンスを検索できる。
- ・ 得られた情報のエビデンスレベルの分類ができる。

【準備学習】

参考図書等の当該項目を予習すること。

5月7日（金） 1 限

【単元】

9. [スクリーニング検査](#)

【講義担当者】

中尾 元幸

【学習目標各論】

- ・ [スクリーニング検査](#)の意義と目標、基準値・[カットオフ値](#)の意味が説明できる。
- ・ 検査の特性（[感度](#)、[特異度](#)、偽陽性、偽陰性）を説明できる。
- ・ 適中度（的中率）と[有病率](#)の関係を説明できる。

【準備学習】

参考図書等の当該項目を予習すること。

5月7日（金） 2 限

【単元】

10. [診断学的検査](#)

【講義担当者】

中尾 元幸

【学習目標各論】

- ・ [診断学的検査](#)の意義と目標、基準値・[カットオフ値](#)の意味が説明できる。
- ・ 検査前確率（事前確率）、検査後確率（事後確率）、[尤度比](#)、receiver operating characteristic <ROC>曲線を説明できる。
- ・ 臨床[疫学](#)的指標を考慮し、科学的根拠に基づいた検査法の選択、臨床判断ができる。

【準備学習】

参考図書等の当該項目を予習すること。

5月10日（月） 1 限

【単元】

11. 保健統計概論と[標準化](#)

【講義担当者】

中尾 元幸

【学習目標各論】

- ・ [標準化](#)の意味を説明できる。
- ・ 疾病・障害統計の意味を説明できる。
- ・ [年齢調整死亡率](#)と[標準化死亡率](#)（[SMR](#)）が説明できる。
- ・ 保健衛生の主要指標について説明できる。
- ・ 保健・衛生統計の重要性について説明できる。
- ・ 人口統計（人口静態と人口動態）を説明できる。

【準備学習】

参考図書等の当該項目を予習すること。

5月10日（月） 2 限

【単元】

12. [人口静態統計（国勢調査）](#)

【講義担当者】

中尾 元幸

【学習目標各論】

- ・ 人口静態統計指標について説明できる。
- ・ 人口構造の変化を説明できる。
- ・ 我が国の世帯の変化を説明できる。
- ・ 地域社会と産業構造の変化を説明できる。
- ・ 世界の人口の動向を説明できる。
- ・ 生命関数表について説明できる。
- ・ 死因分析が説明できる。
- ・ 我が国の[平均寿命](#)と[平均余命](#)の現状を説明できる。

【準備学習】

参考図書等の当該項目を予習すること。

5月11日（火） 1 限

【単元】

13. [人口動態統計](#)

【講義担当者】

中尾 元幸

【学習目標各論】

- ・ [人口動態統計](#)について説明できる。
- ・ [人口動態統計](#)指標（[出生率](#)・疾患別[死亡率](#)など）の意味と現状を説明できる。
- ・ 我が国の[人口動態統計](#)指標の推移を説明できる。
- ・ 我が国の疾病構造の変遷とその要因を説明できる。

【準備学習】

参考図書等の当該項目を予習すること。

5月11日（火） 2 限

【単元】

14. 疾病予防と健康づくり支援①：概論

【講義担当者】

山内 圭子

【学習目標各論】

- ・ 生活習慣とリスクの基本概念を説明できる。
- ・ 健康日本21（第二次）を説明できる。
- ・ [予防医学](#)（一次、二次、三次予防）と健康保持増進を概説できる。
- ・ 喫煙（状況、有害性、[受動喫煙](#)防止、禁煙支援）、飲酒（状況、有害性、アルコール[依存症](#)からの回復支援）を説明できる。

【準備学習】

参考図書の当該項目を予習すること。

5月12日（水） 3 限*

【単元】

15. [疫学](#)研究①

【講義担当者】

頼藤 貴志

【学習目標各論】

[疫学](#)研究デザインの種類と特徴について説明できる。

【準備学習】

【注意事項】

5月12日（水） 4 限*

【単元】

16. [疫学](#)研究②

【講義担当者】

頼藤 貴志

【学習目標各論】

実際に[疫学](#)研究を行う上で配慮すべき点について説明できる。

【準備学習】

【注意事項】

5月13日（木） 1 限

【単元】

17. 疾病予防と健康づくり支援②：[生活習慣病](#)

【講義担当者】

山内 圭子

【学習目標各論】

- ・[生活習慣病](#)の現状と動向を説明できる。
- ・ライフスタイル（食生活、身体活動、運動）の変化と[生活習慣病](#)の現状・動向の関連を説明できる。
- ・[生活習慣病](#)対策の変遷を説明できる。
- ・健康日本21（第二次）における主な[生活習慣病](#)の目標設定の考え方と施策を説明できる。

【準備学習】

参考図書等の当該項目を予習すること。

5月13日（木） 2 限

【単元】

18. 疾病予防と健康づくり支援③：がん

【講義担当者】

山内 圭子

【学習目標各論】

- ・各種がんの現状と動向を説明できる。
- ・生活習慣とがんの関係を説明できる。
- ・各種がんのリスク要因と予防について説明できる。
- ・[がん登録](#)の意義について説明できる。
- ・がん対策基本法とがん対策基本計画について説明できる。

【準備学習】

参考図書の当該項目を予習すること。

5月14日（金） 1 限

【単元】

19. [国際保健](#)

【講義担当者】

山内 圭子

【学習目標各論】

- ・ [国際保健](#)の重要性について概説できる。
- ・ 世界の保健・医療問題を概説できる。
- ・ [国際保健](#)・医療協力を列挙し、概説できる。
- ・ [WHO](#)の役割について概説できる。
- ・ [SDGs](#)における保健分野の課題と現状、関係する国際機関について説明できる。

【準備学習】

参考図書等の当該項目を予習すること。

5月14日（金） 2 限

【単元】

20. 学校保健

【講義担当者】

山内 圭子

【学習目標各論】

- ・ 学齢期の健康状況について説明できる。
- ・ 健康診断について説明できる。
- ・ 学校保健安全法と学校保健安全計画を説明できる。
- ・ 学校伝染病とその対策について説明できる。
- ・ 学校医の役割を説明できる。

【準備学習】

参考図書等の当該項目を予習すること。

5月17日（月） 1 限

【単元】

21. 成人・高齢者保健

【講義担当者】

山内 圭子

【学習目標各論】

- ・ 成人・高齢者保健の現状と動向を説明できる。
- ・ 高齢者の医療・福祉の制度を説明できる。
- ・ 介護保険法の概要について説明できる。

【準備学習】

参考図書等の当該項目を予習すること。

5月17日（月） 2 限

【単元】

22. [精神保健](#)

【講義担当者】

山内 圭子

【学習目標各論】

- ・ [精神保健](#)福祉の現状と動向を説明できる。
- ・ 精神障害者の[社会復帰](#)施策を概説できる。
- ・ アルコール[依存症](#)の現状と対策を説明できる。
- ・ [自殺](#)の現状とその対策について説明できる。

【準備学習】

参考図書等の当該項目を予習すること。

5月18日（火） 1 限

【単元】

23. [公衆衛生](#)に係る[感染症](#)①

【講義担当者】

中尾 元幸

【学習目標各論】

- ・ [感染症](#)対策の歴史を理解する。
- ・ 主な[感染症](#)の[疫学](#)と最近の動向について説明できる。
- ・ [感染症](#)法の概要と届出義務を説明できる。
- ・ [感染症](#)の発症動向調査と地域での流行の把握と対策について説明できる。
- ・ 新型[インフルエンザ](#)等の発生時の地域および医療機関などでの感染予防対策について説明できる。

【準備学習】

参考図書等の当該項目を予習すること。

5月18日（火） 2 限

【単元】

24. [公衆衛生](#)に係る[感染症](#)②

【講義担当者】

中尾 元幸

【学習目標各論】

- ・ [予防接種](#)の意義と現状を理解する。
- ・ 国際[感染症](#)の発生動向と対策について説明できる。
- ・ [検疫感染症](#)の発生状況と対策について理解する。

【準備学習】

参考図書等の当該項目を予習すること。

5月19日（水） 1 限

【単元】

25. [公衆衛生](#)活動と[衛生行政](#)

【講義担当者】

桑木 光太郎

【学習目標各論】

- ・医療計画を説明できる。
- ・保健所と市町村保健センターの役割を説明できる。
- ・保健所業務の現状と動向を説明できる。

【準備学習】

参考図書の当該項目を予習すること。

5月19日（水） 2 限

【単元】

26. [地域保健医療](#)の現状と動向

【講義担当者】

桑木 光太郎

【学習目標各論】

- ・地域社会（へき地・離島を含む）における医療の状況、医師の偏在（地域および診療科）の現状について概説できる。
- ・地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における、保健・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。
- ・地域における、救急医療、在宅医療および離島・へき地医療の体制を説明できる。
- ・災害医療について説明できる。

【準備学習】

参考図書等の当該項目を予習すること。

5月20日（木） 1 限

【単元】

27. [社会保障](#)の現状と動向①

【講義担当者】

桑木 光太郎

【学習目標各論】

- ・[社会保障](#)、[社会福祉](#)、[公衆衛生](#)の関係について説明できる。
- ・日本における[社会保障](#)制度と医療経済（国民医療費の収支と将来予測）を説明できる。
- ・[社会保障](#)の最近の動向について理解する。
- ・[社会保障](#)に関する主な法律について説明できる。

【準備学習】

参考図書等の当該項目を予習すること。

5月20日（木） 2 限

【単元】

28. [社会保障](#)の現状と動向②

【講義担当者】

桑木 光太郎

【学習目標各論】

- ・ [医療保険](#)、介護保険および公費医療を説明できる。
- ・ 医療における費用対効果分析を説明できる。
- ・ 医療の質の確保を説明できる。
- ・ 医療資源と医療サービスの価格形成を説明できる。診療報酬制度を説明でき、同制度に基づいた診療計画を立てることができる。

【準備学習】

参考図書等の当該項目を予習すること。

5月21日（金） 1 限

【単元】

29. [母子保健](#)①：概論と動向

【講義担当者】

山内 圭子

【学習目標各論】

- ・ [母子保健](#)の現状と動向を説明できる。
- ・ 乳幼児期・小児の保健医療・福祉について説明できる。
- ・ 母性保護（[家族計画](#)・母子健康手帳）について説明できる。

【準備学習】

参考図書等の当該項目を予習すること。

5月21日（金） 2 限

【単元】

30. [母子保健](#)②：保健行政

【講義担当者】

山内 圭子

【学習目標各論】

- ・ 健やか親子21（第二次）について説明できる。
- ・ 次世代育成支援対策について説明できる。
- ・ [児童虐待](#)の防止と児童[相談](#)所の役割について説明できる。
- ・ [母子保健](#)に係る行政サービス提供の役割分担を理解する。
- ・ [母子保健](#)に係る公費負担について説明できる。

【準備学習】

参考図書等の当該項目を予習すること。

試験問題・解答（本試験）

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト)
Home

日本語 (ja)
English (en)
日本語 (ja)

モバイルアプリを取得する

2021 社会と医学・医療（公衆衛生学）実習

[ダッシュボード](#) / [マイコース](#) / [2021年度](#) / [2021年度・医学科](#) / [実習](#) / [4年](#) / [2021 社会と医学・医療（公衆衛生学）実習](#)

社会と医学・医療（公衆衛生学）実習

【統括責任者】

谷原 真一

【何を学ぶか】

公衆衛生的視野を持った医師となるために、疫学や科学的根拠に基づいた考え方、それらを実践できる能力を獲得する。

【獲得すべき能力】

講義で学んだ公衆衛生の知識を駆使し、自ら必要な情報を調査、吟味し、医院開業計画の立案を通じてキャリアプランや資金計画などの人生設計を行う能力を身につける。

【身に着けてほしい能力】

- ・主体的・能動的に学習する姿勢を身につける。
- ・厚生労働省をはじめとする公的機関の統計資料を利活用できる能力を身につける。
- ・医院開業計画立案を通じた医療の実践における問題解決能力や応用能力を身につける。

【評価方法】

「医学・医療と社会（公衆衛生学）」の講義と本実習を合わせて評価する。

【問い合わせ】

実習内容の質問については、kurumemedpublichealth@gmail.com

その他については、nakao_motoyuki@med.kurume-u.ac.jp（中尾 元幸）

0942-31-7553（内線 3406）

公衆衛生学講座（基礎二号館5F東側、エレベーター降りて左奥、北側が受付）

 [質疑応答掲示板](#)

 [科目DB](#)

 [指定・参考図書](#)

 [英語DB](#)

 [用語集](#)

 [科目評価（新）](#)

4月26日（月）5～8限

【単元】

社会と医学・医療（公衆衛生学）実習①

【講義担当者】

谷原 真一、中尾 元幸、山内 圭子、桑木 光太郎

【学習目標各論】

- ・本実習のオリエンテーション・グループ分けを行う。

【準備学習】

（注）本実習は基礎3号館1階、コンピュータ実習室で行う。

4月27日（火） 5～8 限

【単元】

社会と医学・医療（公衆衛生学）実習②

【講義担当者】

谷原 真一、中尾 元幸、山内 圭子、桑木 光太郎

【学習目標各論】

・地域における医療需要の将来推計（政府統計の活用）、診療科・地域別医師数の将来推計ができる。

【準備学習】

関連する講義の復習、参考図書等の当該項目を予習すること。

（注）本実習は基礎3号館1階、コンピュータ実習室で行う。

4月28日（水） 5～8 限

【単元】

社会と医学・医療（公衆衛生学）実習③

【講義担当者】

谷原 真一、中尾 元幸、山内 圭子、桑木 光太郎

【学習目標各論】

・地域における診療科・地域別医師数・医療施設の状況を把握する。

【準備学習】

関連する講義の復習、参考図書等の当該項目を予習すること。

（注）本実習は基礎3号館1階、コンピュータ実習室で行う。

5月6日（木） 5～8 限（14:20から開始）

【単元】

社会と医学・医療（公衆衛生学）実習④

【講義担当者】

谷原 真一、中尾 元幸、山内 圭子、桑木 光太郎

【学習目標各論】

・診療科の選択、（医療法に基づく）施設名称の決定ができる。

【準備学習】

関連する講義の復習、参考図書等の当該項目を予習すること。

（注）本実習は基礎3号館1階、コンピュータ実習室で行うが、14:10まで別の講義で使用しているため、入れ替えの時間を考慮して
14:20より実習を開始する。

5月7日（金） 5～8 限@講義室

【単元】

社会と医学・医療（公衆衛生学）実習⑤

【講義担当者】

谷原 真一、中尾 元幸、山内 圭子、桑木 光太郎

【学習目標各論】

・疫学、公衆衛生学分野の問題演習を通して講義内容の理解を深める。

【準備学習】

これまでの「社会と医学・医療（公衆衛生学）」の講義の復習となります。
（注）本実習は通常の講義室で行う。

5月10日（月） 5～8 限

【単元】

社会と医学・医療（公衆衛生学）実習⑥

【講義担当者】

谷原 真一、中尾 元幸、山内 圭子、桑木 光太郎

【学習目標各論】

・SWOT分析、開業予定地の設定ができる。

【準備学習】

関連する講義の復習、参考図書等の当該項目を予習すること。
（注）本実習は基礎3号館1階、コンピュータ実習室で行う。

5月11日（火） 5～8 限

【単元】

社会と医学・医療（公衆衛生学）実習⑦

【講義担当者】

谷原 真一、中尾 元幸、山内 圭子、桑木 光太郎

【学習目標各論】

・患者数の将来予測、設備・人員の設定

【準備学習】

関連する講義の復習、参考図書等の当該項目を予習すること。
（注）本実習は基礎3号館1階、コンピュータ実習室で行う。

5月12日（水） 5～8 限

【単元】

社会と医学・医療（公衆衛生学）実習⑧

【講義担当者】

谷原 真一、中尾 元幸、山内 圭子、桑木 光太郎

【学習目標各論】

- ・診療報酬の予測、収支予測、広告などの検討、開業予定地やHP作成案についての中間報告ができる。

【準備学習】

関連する講義の復習、参考図書等の当該項目を予習すること。

(注) 本実習は基礎3号館1階、コンピュータ実習室で行う。

5月13日（木） 5～8限

【単元】

社会と医学・医療（公衆衛生学）実習⑨

【講義担当者】

谷原 真一、中尾 元幸、山内 圭子、桑木 光太郎

【学習目標各論】

- ・資金計画の立案、卒業から開業までのキャリアプランを考えることができる。

【準備学習】

関連する講義の復習、参考図書等の当該項目を予習すること。

(注) 本実習は基礎3号館1階、コンピュータ実習室で行う。

5月14日（金） 5～8限@講義室

【単元】

社会と医学・医療（公衆衛生学）実習⑩

【講義担当者】

谷原 真一、中尾 元幸、山内 圭子、桑木 光太郎

【学習目標各論】

- ・疫学、公衆衛生学分野の問題演習を通して講義内容の理解を深める。

【準備学習】

これまでの「社会と医学・医療（公衆衛生学）」の講義の復習となります。

(注) 本実習は通常の講義室で行う。

5月17日（月） 5～8限@セミナー室

【単元】

社会と医学・医療（公衆衛生学）実習⑪

【講義担当者】

谷原 真一、中尾 元幸、山内 圭子、桑木 光太郎

【学習目標各論】

- ・実習成果のプレゼンテーションができる。

【準備学習】

これまでの実習内容の復習

(注) 本実習は基礎3号館1階、**セミナー室**で行う。

5月18日（火） 5～8限@セミナー室

【単元】

社会と医学・医療（公衆衛生学）実習⑫

【講義担当者】

谷原 真一、中尾 元幸、山内 圭子、桑木 光太郎

【学習目標各論】

- ・実習成果のプレゼンテーションができる。
（実習の成果、プレゼンテーションに対する講評を行う）

【準備学習】

これまでの実習内容の復習
（注）本実習は基礎3号館1階、**セミナー室**で行う。

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト)
[Home](#)

- [日本語 \(ja\)](#)
- [English \(en\)](#)
- [日本語 \(ja\)](#)

[モバイルアプリを取得する](#)

2021 行動科学Ⅳ

[ダッシュボード](#) / [マイコース](#) / [2021年度](#) / [2021年度・医学科](#) / [1学期](#) / [4年](#) / [2021 行動科学Ⅳ](#)

行動科学Ⅳ

【統括責任者】

谷原 真一

【何を学ぶか】

健康や疾病に関する人間の心理と行動を学ぶ

コアカリの一般目標では、「A 医師として求められる基本的な資質・能力」のうち、「**A-1 プロフェッショナリズム** 2) 患者中心の視点 3) 医師としての責務と裁量権」、「**A-3 診療技能と患者ケア** 1) 全人的実践的能力」、「**A-4 コミュニケーション能力** 1) コミュニケーション 2) 患者と医師の関係」、「**A-5 チーム医療の実践** 1) 患者中心の**チーム医療**」、「**A-7 社会における医療の実践** 1) 地域医療への貢献」、「B 社会と医学・医療」のうち、「**B-1 集団に対する医療** 5) 生活習慣とリスク 6) 社会・環境と健康 7) 地域医療・地域保健 8) 保健・医療・福祉・介護の制度」、「**B-4 医療に関連のある社会科学領域** 1) 医師に求められる社会性」及び「C 医学一般」のうち、「**C-5 人の行動と心理** 1) 人の行動 2) 行動の成り立ち 3) 動機づけ 4) ストレス 5) 生涯発達 6) 個人差 7) 対人関係と対人コミュニケーション 8) 行動変容における理論と技法」に相当する。

【獲得すべき能力（全体）】

第4学年(4/5～5/20 54コマ) 行動科学や健康行動学（行動変容・健康教育・行動経済学を中心に予防医学の理論と実践を学ぶ）← 狭義の行動科学

【獲得すべき能力（個別）】

コアカリの到達目標では、「**B-4 医療に関連のある社会科学領域**」の「文化的社会的文脈の中で、人の心と社会の仕組みを理解するための基礎的な知識と考え方やリベラルアーツを学ぶ。臨床実践に行動科学・社会科学の知見を活かすことができるように、健康・疾病・医療に関する文化人類学や社会学(主に医療人類学と医療社会学)の視点・方法・理論について理解を深める」、「**B-4-1) 医師に求められる社会性**」の「①医療人類学や医療社会学の行動科学・社会科学の基本的な視点・方法・理論を概説できる。②健康・病気・医療・死をめぐる文化的な多様性を説明できる。③自分が所属する文化を相対化することができる。④人々の暮らしの現場において、病気や健康がどのように捉えられているかを説明できる。⑤人の言動の意味を、その人の人生や社会関係の中で説明できる。⑥文化・ジェンダーと医療の関係を考えることができる。⑦国際保健・医療協力の現場における文化的な摩擦について、課題を設定して解決案を提示できる。⑧社会をシステムとして捉えることができる。⑨病人役割を概説できる。⑩対人サービスの困難(バーンアウトリスク)を概説できる。⑪経済的側面や制度的側面を踏まえた上で、医療現場の実践を評価できる。⑫・在宅療養と施設入所・病院入院の関係について総合的に考察できる。⑬様々な立場の人(医療専門職を含む)が異なる視点から医療現場に関わっていることを理解できる。⑭具体的な臨床事例に文化的課題や社会的課題を見出すことができる」、「**C-5 人の行動と心理：人の行動と心理を理解するための基礎的な知識と考え方を学ぶ**」の「**C-5-1) 人の行動** ①行動と知覚・学習・記憶・認知・言語・思考・性格の関係を概説できる。②行動の脳内基礎過程を説明できる。③行動と人の内的要因・社会文化的環境の関係を概説できる」、「**C-5-2) 行動の成り立ち** ①本能行動と学習行動(適応的な学習と適応的でない学習)を説明できる。②レスポナント条件づけとオペラント条件づけを説明できる。③社会的学習(モデリング・観察学習・模倣学習)を説明できる」、「**C-5-3) 動機づけ** ①生理的動機・内発的動機・社会的動機を概説できる。②動機づけを例示できる。③欲求とフラストレーション・葛藤の関連を概説できる。④適応機制(防衛機制)を概説できる」、「**C-5-4) ストレス** ①主なストレス学習を概説できる。②人生・生活・仕事におけるストレスと健康への影響を例示できる。③ストレスコーピング過程に関連する心理社会的要因を説明できる。④ストレス対処法を概説できる」、「**C-5-5) 生涯発達** ①心の発達の原理を概説できる。②ライフサイクルの各段階における心の発達と発達過程を概説できる。③心の発達に関わる遺伝的要因と環境的要因を概説できる」、「**C-5-6) 個人差** ①パーソナリティの類型と特性を概説できる。②パーソナリティの形成を概説できる。③知能の発達と経年変化を概説できる。④役割理論を概説できる。⑤ジェンダーの形成と性的指向・性自認への配慮の方法を説明できる」、「**C-5-7) 対人関係と対人コミュニケーション** ①対人関係に関わる心理的要因を概説できる。②人間関係における欲求と行動の関係を概説できる。③主な対人行動(援助や攻撃)を概説できる。④集団の中の人間関係(競争や協同)を概説できる。⑤効果的な対人コミュニケーションを説明できる。⑥話し手と聞き手の役割を説明でき、適切なコミュニケーションスキルを使える。⑦個人と集団に及ぼす文化的影響を例示できる。⑧文化や慣習によってコミュニケーションの在り方が異なることを例示できる」、「**C-5-8) 行動変容における理論と技法** ①健康行動や行動変容の動機づけを概説できる。②行動療法を説明できる。③認知行動療法を説明できる。④心理教育を説明できる。⑤生活習慣病にける患者支援(自律性支援)や保健指導を概説できる」に相当する。

【身に着けてほしい能力】

これまでの3年間で行われた行動科学Ⅰ/Ⅱ/Ⅲでは、1)医学と医療の全体像の把握、2)関連領域の役割や現状の理解、3)臨床医や研究者になったときに必要な課題発見や問題解決に関する基本的能力を養うことを目標としてきた。また、診療や研究で実践的に活躍する上で人間性・協調性・倫理観が重要であることや、変化する時代や社会のニーズに対応していくには柔軟性・積極性・向上心が

切であることの認識を深めてきた。行動科学Ⅳでは、医学教育モデル・コア・カリキュラムに示される狭義の行動科学を中心に、健康や疾病に関する人間の心理と行動についての理論を学び、実践する能力を身に付けてほしい。

【評価方法】

医学科の細則に従って、筆記試験（選択問題・穴埋め問題・記述問題・論述問題など（形式は別途指定））を行う。

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

試験の結果は平均点や分布を掲示し、学年全体と個々の達成度の比較を可能な形にする。

【問い合わせ】

公衆衛生学講座 谷原真一（内線3400）



 [質疑応答掲示板](#)

 [科目DB](#)

 [指定・参考図書](#)

 [英語DB](#)

 [用語集](#)

 [科目評価（新）](#)

4/5（月） 2限

【単元】

オリエンテーション

【講義担当者】

谷原 真一

【学習目標各論】

医学教育モデル・コア・カリキュラムにおける「行動科学」の領域に示される内容と本学カリキュラム「行動科学Ⅳ」の関連を把握し、学習目標と卒業時コンピテンスを認識する

【準備学習】

医学教育モデル・コア・カリキュラム 学習目標 卒業時コンピテンス

4/6（火） 1限

【単元】

医療経済学の基礎 1 〈経済学と医療の関係〉

【講義担当者】

谷原 真一（公衆衛生学講座）

【学習目標各論】

ミクロ経済学の基礎を学び、医療との関連性を説明できる

【準備学習】

希少性 意志決定

4/6（火） 2限

【単元】

医療経済学の基礎 2 〈経済学的思考方法〉

【講義担当者】

谷原 真一（公衆衛生学講座）

【学習目標各論】

経済学における科学的アプローチについて修得する

【準備学習】

フロー循環図 生産可能性フロンティア

4/7（水） 1限

【単元】

医療経済学の基礎 3 〈交易の利益と[チーム医療](#)〉

【講義担当者】

谷原真一（公衆衛生学講座）

【学習目標各論】

交易によってお互いが利益を得るというミクロ経済学の知見を[チーム医療](#)に当てはめた場合について学ぶ

【準備学習】

交易 トレード・オフ 機会費用 比較優位

4/7（水） 2限

【単元】

医療経済学の基礎 4 〈需要供給の関係〉

【講義担当者】

谷原 真一（公衆衛生学講座）

【学習目標各論】

需要と供給の理論を学び、財の価格決定や希少な資源の配分に関する原則を理解する。

【準備学習】

市場 需要曲線 供給曲線 正常財 劣等財

4/8（木） 1限

【単元】

行動経済学基礎（1） 〈医療における行動経済学〉

【講義担当者】

桑木 光太郎（公衆衛生学講座）

【学習目標各論】

従来のミクロ経済学と行動経済学の違いを学び、医療と行動経済学の関連を知る

【準備学習】

選好 合理性

4/8（木） 2限

【単元】

行動経済学基礎（２） 〈意志決定におけるバイアス〉

【講義担当者】

桑木光太郎（公衆衛生学講座）

【学習目標各論】

人間の意志決定は必ずしも合理的ではない。合理的な意志決定からの逸脱には系統があることが知られている。系統に応じた意志決定のバイアス（偏りあるいは傾向）を知ることにより合理的な意志決定を行うことが可能となる。

【準備学習】

サunkコスト 現状維持バイアス 利用可能性ヒューリスティック

4/9（金） 1限

【単元】

自然災害の行動科学

【講義担当者】

大江 美佐里（神経精神医学）

【学習目標各論】

自然災害発生時における行動や支援のあり方を知る

【準備学習】

自然災害

4/9（金） 2限

【単元】

外傷性ストレスの行動科学

【講義担当者】

大江 美佐里（神経精神医学）

【学習目標各論】

外傷性ストレスが精神・行動に与える影響を学ぶ

【準備学習】

ストレス 外傷性ストレス 逆境体験 二次被害

4/13（火） 1限

【単元】

医療経済学の基礎 5 〈弾力性と医療の特殊性〉

【講義担当者】

谷原 真一（公衆衛生学講座）

【学習目標各論】

生命のように代替できないものを取り扱う医療において、財の需要、供給、価格、所得が与える影響について学ぶ

【準備学習】

弾力性 必需品 贅沢品

4/13（火） 2限

【単元】

医療経済学の基礎 6 〈政策と市場の関係〉

【講義担当者】

谷原 真一（公衆衛生学講座）

【学習目標各論】

医療に関する政策が現実社会に与える影響を検討する上でのミクロ経済学的手法について学ぶ

【準備学習】

価格規制 課税 均衡

4/14（水） 1限

【単元】

行動経済学基礎（3） 〈プロスペクト理論と治療法選択〉

【講義担当者】

中尾 元幸（公衆衛生学講座）

【学習目標各論】

医療行為の結果は不確実性を含む。このような条件下の意志決定に関する理論である確実性効果と損失回避をもとにしたプロスペクト理論について学ぶ。

【準備学習】

不確実性 確実性効果 損失回避 プロスペクト理論

4/14（水） 2限

【単元】

行動経済学基礎（4） 〈ナッジと健康行動〉

【講義担当者】

中尾 元幸（公衆衛生学講座）

【学習目標各論】

行動経済学的特性を利用した「ナッジ」は患者の行動変容を促すことが知られている。ナッジへの理解を深めるとともに、医療者へのナッジの有用性について学ぶ

【準備学習】

ナッジ コミットメント デフォルト設定

4/15（木） 1限

【単元】

医療経済学の基礎 7 〈市場効率〉

【講義担当者】

谷原 真一（公衆衛生学講座）

【学習目標各論】

厚生経済学の主要なトピックである資源配分が経済厚生に与える影響を検討するための手法の基礎を学ぶ

【準備学習】

支払許容額 消費者余剰 生産者余剰 市場の失敗

4/15（木） 2限

【単元】

医療経済学の基礎 8 〈課税の費用〉

【講義担当者】

谷原 真一（公衆衛生学講座）

【学習目標各論】

税金は医療の財源として大きな役割を果たしている。税が社会全体に与える影響を検討するための基礎を学ぶ。

【準備学習】

消費者余剰 生産者余剰 死荷重 インセンティブ

4/16（金） 1限

【単元】

行動経済学基礎（5） 〈神経経済学〉

【講義担当者】

中尾 元幸（公衆衛生学講座）

【学習目標各論】

経済行動を生み出す脳の働きを脳科学の手法を用いて解明しようとする経済理論である「神経経済学」の基礎について学ぶ

【準備学習】

脳科学 報酬系 大脳皮質

4/16（金） 2限

【単元】

健康行動理論1 <健康行動と健康行動理論>

【講義担当者】

山内 圭子（公衆衛生学講座）

【学習目標各論】

健康行動理論と健康教育・ヘルスプロモーションについて説明できる

【準備学習】

健康行動 健康教育 ヘルスプロモーション Population approach とHigh risk approach 健康決定因子の階層構造

4/20（火） 1限

【単元】

医療経済学の基礎9 <外部性とワクチンの有用性>

【講義担当者】

谷原 真一（公衆衛生学）

【学習目標各論】

政策が市場における配分に与える影響を検討する上で重要な外部性の概念について学び、ワクチン推進などの政策が社会全体に与える影響を検討するための基礎について学ぶ。

【準備学習】

負の外部性 正の外部性 外部性の内部化 コースの定理

4/20（火） 2限

【単元】

医療経済学の基礎10 <経済学における財と医療>

【講義担当者】

谷原 真一（公衆衛生学）

【学習目標各論】

市場価格がない財が存在するときに資源配分で生じる問題を検討し、医療資源配分の地域格差を分析する上での基礎理論を学ぶ

【準備学習】

公共財 共有資源 私的財 フリーライダー 共有地の悲劇

4/21（水） 1限

【単元】

貧困の問題

【講義担当者】

桑木光太郎（公衆衛生学）

【学習目標各論】

貧困が社会や個人に与える影響について説明できる

【準備学習】

社会経済的状況 相対的貧困 絶対的貧困 健康格差

4/21（水） 2限

【単元】

医療政策

【講義担当者】

佐藤 敏信（特命教授 医療政策担当）

【学習目標各論】

- 1.医療の財源を知る。
- 2.医療の財源のうち、健康保険制度の仕組みを知る。
- 3.健康保険制度の概要と診療報酬の仕組みを知る。

【準備学習】

- 1.日本の財政とその構造はどうなっているか？
- 2.健康保険制度とは何か？ どういう考え方に基づくものか？
- 3.診療報酬とは何か？ どういう特徴があるか？

4/21（水） 3限

【単元】

予防医学

【講義担当者】

野村 政壽（内分泌代謝内科）

【学習目標各論】

予防医学の概念と方法論を説明できる

【準備学習】

非感染性疾患(NCD) コホート研究 健康寿命 ヘルスケア

4/21（水） 6限

【単元】

生活リズムと生活習慣病

【講義担当者】

岩田 慎平（内分泌代謝内科）

【学習目標各論】

生活リズムと生活習慣病の関連を学ぶ

【準備学習】

生活リズム 生活習慣病

4/26（月） 3限

【単元】

医療経済学の基礎11 〈生産理論と医療経営〉

【講義担当者】

谷原 真一（公衆衛生学）

【学習目標各論】

生産に関する費用の定義や医療経営における意志決定の基礎について学ぶ

【準備学習】

明示的費用 潜在的費用 限界生産物 固定費用 可変費用 限界費用 規模の経済

4/26（月） 4限

【単元】

医療経済学の基礎12 〈完全競争市場〉

【講義担当者】

谷原 真一（公衆衛生学）

【学習目標各論】

競争市場における企業の生産の決定について学ぶ

【準備学習】

競争市場 限界収入 サンクコスト（埋没費用）

4/27（水） 3限

【単元】

行動経済学基礎（6）〈限定合理性〉

【講義担当者】

中尾 元幸（公衆衛生学講座）

【学習目標各論】

現実の人間の認識能力は有限であるために経済的合理性が限定される状況が発生する。ここでは限定合理性下の意志決定について学ぶ。

【準備学習】

フレーミング効果 アンカリング 直感 思考費用

4/28（水） 1,2限

【単元】

医療面接と行動変容／動機付け①

医療面接と行動変容／動機付け②

【講義担当者】

向原 圭（久留米大学医療センター総合診療科）

【学習目標名論】

医療面接の定義と役割について理解する

患者の行動変容を促すための具体的なスキルについて考える

【準備学習】

特になし

【課題】

患者の話に耳を傾け、必要に応じて診察をし、良好な患者・医師関係を築きながら、一緒に問題点について考えていくことは臨床医としての基本です¹⁾。ここでは、この「患者と医師のやりとり」の一連の過程を医療面接と定義します¹⁾。そして、医療面接には以下の3つの役割があります¹⁾。

- ・情報の収集と問題点の同定
- ・患者との良好な関係の構築
- ・患者教育 ― 問題点についての説明と今後の計画についての話し合い

食生活、運動、喫煙、飲酒等の健康習慣について患者の行動変容／動機付けを促すためには、この3つの役割を意識しながら、医療面接を効果的に行う必要があります。

参考文献 1. 向原圭 伴信太郎 医療面接、病歴 改訂第9版 内科学書 Vol. 1. 内科学総論 臨床症状 総編集 南学正臣、部門編集 伴信太郎 山本和利 中山書店 2019. p 129-133

今までに個人的に経験した、あるいは見聞きした「これまで家族、友人、知人、他人等、人の健康習慣を変えるのが難しいと感じた事例」について、以下の項目に沿って、プライバシーの保護に問題がない範囲でレポートに記述してください（字数制限 600-1200字）

- ① どのような事例を経験したか、あるいは見聞きしたか
- ② なぜその人の健康行動を変えるのが難しかったのか
- ③ どのような医療面接のスキル（具体的な言葉がけなど）を駆使すればその人の健康習慣を変えることができそうか

レポートの提出時間 2021年4月28日（水）8:30AM～10:20AM 【厳守】

*レポートの評価方法

提出されたレポートは医療面接レポート評価ルーブリックを基に向原が評価を行います。

不明な点などありましたら、向原までメールで（mukohk01@gmail.com）ご連絡ください。

5/6（木）3限

【単元】

医療経済学の基礎13 〈独占市場〉

【講義担当者】

谷原 真一（公衆衛生学）

【学習目標名論】

経済学における独占の定義を学び、医療分野における事例について検討する。

【準備学習】

独占 規制 参入障壁 価格差別

5/6（木） 4限

【単元】

医療経済学の基礎14 〈その他の市場構造〉

【講義担当者】

谷原 真一（公衆衛生学）

【学習目標各論】

独占と完全競争の間である不完全競争について学び、医療との関連について検討する。

【準備学習】

不完全競争 独占的競争 寡占 広告

5/7（金） 3限

【単元】

健康行動理論 2 <Program planning>

【講義担当者】

山内 圭子（公衆衛生学）

【学習目標各論】

ヘルスプロモーションのプログラム作成について説明できる

【準備学習】

ニーズ・アセスメント プライオリティ・セッティング 目的（goal）と目標（objective） プロセス評価 影響評価 成果評価

5/7（金） 4限

【単元】

患者とのコミュニケーション（意識とその障害）

【講義担当者】

小曽根 基裕（神経精神医学）

【学習目標各論】

患者とのコミュニケーションについて学ぶ

【準備学習】

患者とのコミュニケーション 意識障害

5/10（月） 3限

【単元】

医師数に関する諸問題

【講義担当者】

桑木光太郎（公衆衛生学）

【学習目標各論】

医師数に関する諸問題の現状と課題について理解する

【準備学習】

医師歯科医師薬剤師調査 働き方改革

5/10（月） 4限

【単元】

医療技術の効果と費用

【講義担当者】

桑木光太郎（公衆衛生学）

【学習目標各論】

医療技術を評価する上で効果と費用の二つの視点について理解する

【準備学習】

QALY、効用

5/11（火） 3限

【単元】

行動経済学基礎（7）〈時間を考慮した行動選択〉

【講義担当者】

中尾 元幸（公衆衛生学講座）

【学習目標各論】

明日から禁煙しようと決意しても、次の日になるとさらに先送りになってしまうような行動に関する行動経済学のモデルについて学ぶ

【準備学習】

割引現在価値 無差別曲線 時間選好

5/11（火） 4限

【単元】

日本の保険医療制度

【講義担当者】

谷原 真一（公衆衛生学）

【学習目標各論】

わが国の保険医療制度とその特徴について説明できる

【準備学習】

リスク分散 国民皆保険 フリーアクセス

5/12（水） 1限

【単元】

健康行動理論 3 <個人レベルの理論・モデル①：ヘルスビリーフモデル>

【講義担当者】

山内 圭子（公衆衛生学）

【学習目標各論】

ヘルスビリーフモデル（Health Belief Model; HBM、健康信念モデル）を説明できる

【準備学習】

ヘルスビリーフモデル（健康信念モデル） 意思決定バランス 自己効力感

5/12（水） 2限

【単元】

健康行動理論 4 <個人レベルの理論・モデル②：計画的行動理論>

【講義担当者】

山内 圭子（公衆衛生学）

【学習目標各論】

計画的行動理論（Theory of Planned Behavior; TPB）を説明できる

【準備学習】

計画的行動理論 行動意図 態度 主観的規範 行動コントロール感

5/13（木） 3限

【単元】

行動経済学基礎（8） 〈学習理論〉

【講義担当者】

中尾元幸（公衆衛生学）

【学習目標各論】

心理学及び神経科学でも広く用いられている強化学習理論と行動経済学の関連について学ぶ

【準備学習】

条件付け 学習理論

5/13（木） 4限

【単元】

[診療録](#)

【講義担当者】

牛島高介（保険診療管理部）

【学習目標各論】

[チーム医療](#)に役立つ[診療録](#)の書き方を知る

【準備学習】

医療英語　医療略語　医療俗語

5/14（金） 3限

【単元】

健康行動理論5　＜個人レベルの理論・モデル③：トランスセオレティカルモデル＞

【講義担当者】

山内　圭子（公衆衛生学）

【学習目標各論】

トランスセオレティカルモデル（Transtheoretical Model; TTM）を説明できる

【準備学習】

トランスセオレティカルモデル　ステージの変化　変容プロセス　意思決定バランス　自己効力感

5/14（金） 4限

【単元】

健康行動理論6　＜個人間レベルの理論・モデル：社会的認知理論＞

【講義担当者】

山内　圭子（公衆衛生学）

【学習目標各論】

社会的認知理論（Social Cognitive Theory; SCT）を説明できる

【準備学習】

社会的認知理論　個人的認知的要因　社会環境的要因　行動要因　学習理論　観察学習

5/17（月） 3限

【単元】

医師誘発需要とモラルハザード

【講義担当者】

桑木光太郎（公衆衛生学）

【学習目標各論】

医療経済を検討する上で重要な概念である医師誘発需要とモラルハザードについて学ぶ

【準備学習】

医師誘発需要　保険　逆選択　モラルハザード　チェリーピッキング

5/17（月） 4限

【単元】

医療機関へのかかり方－海外との比較

【講義担当者】

桑木光太郎（公衆衛生学）

【学習目標各論】

保険医療制度は国によって異なるため、医療機関へのかかり方も国によって異なる。各国の保険医療制度の概要を学び、医療機関受診行動の違いに与える影響について考えを深める

【準備学習】

自己負担 現物給付 償還払い ゲートキーパー

5/18（火） 3限

【単元】

健康行動理論7 <集団レベルの理論・モデル①：ソーシャルマーケティング>

【講義担当者】

山内 圭子（公衆衛生学）

【学習目標各論】

ソーシャルマーケティング（Social Marketing）を説明できる

【準備学習】

顧客志向 セグメンテーション 4つのP（製品（Product）、価格（Price）、流通（Place）、宣伝（Promotion））

5/18（火） 4限

【単元】

健康行動理論8 <集団レベルの理論・モデル②：オタワ憲章におけるヘルスプロモーションーコミュニティ・ビルディング>

【講義担当者】

山内 圭子（公衆衛生学）

【学習目標各論】

オタワ憲章におけるヘルスプロモーションの定義と戦略としてのコミュニティ・ビルディングについて説明できる

【準備学習】

オタワ憲章 ヘルスプロモーション 生活戦略 政治戦略 コミュニティビルディング ソーシャルキャピタル

5/19（水） 3限

【単元】

行動経済学基礎（9） <社会的選好>

【講義担当者】

中尾元幸（公衆衛生学）

【学習目標各論】

利他的行動を説明するための行動経済学のモデルについて学ぶ

【準備学習】

社会的選好 ゲーム理論

5/19（水） 4限

【単元】

行動経済学基礎(10) ＜行動経済学と医療政策＞

【講義担当者】

桑木光太郎（公衆衛生学）

【学習目標各論】

行動経済学の知見を実際の医療政策に応用した事例と成果について学ぶ

【準備学習】

保健事業 PDCAサイクル

5/19（水） 5限

【単元】

国民医療費

【講義担当者】

桑木光太郎（公衆衛生学）

【学習目標各論】

国民医療費の定義と分類について学び、国民医療費に影響を与える要因について学ぶ

【準備学習】

国民医療費 少子高齢化

5/19（水） 6限

【単元】

医療分野における規制

【講義担当者】

桑木光太郎（公衆衛生学）

【学習目標各論】

医療関連法規に基づく各種規制について学ぶ

【準備学習】

医療法 医師法 広告 業務独占 名称独占

5/20（木） 3限

【単元】

地域医療構想

【講義担当者】

桑木光太郎（公衆衛生学）

【学習目標各論】

地域医療構想の内容と今後の医療提供体制に及ぼす影響を知る

【準備学習】

地域医療構想 医療計画

5/20（木） 4限

【単元】

地域包括ケアシステム

【講義担当者】

桑木光太郎（公衆衛生学）

【学習目標各論】

地域包括ケアシステムに関する医療や介護政策の状況について理解を深める

【準備学習】

地域包括ケアシステム、在宅医療、介護保険

5/20（木） 5限

【単元】

持続可能な医療システム

【講義担当者】

桑木 光太郎（公衆衛生学）

【学習目標各論】

今後の社会経済状況の変化に対応可能な医療システムの構築と関連政策について理解を深める

【準備学習】

医療計画 地域医療構想 将来推計人口

5/20（木） 6限

【単元】

まとめ

【講義担当者】

谷原 真一（公衆衛生学）

【学習目標各論】

これまでの講義内容を振り返り、各講義における学習目標について理解をより深める

【準備学習】

試験問題・解答（本試験）

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト)
Home

日本語 (ja)
English (en)
日本語 (ja)

モバイルアプリを取得する

2021 整形外科

[ダッシュボード](#) / [マイコース](#) / [2021年度](#) / [2021年度・医学科](#) / [1学期](#) / [4年](#) / [2021 整形外科](#)

整形外科

【統括責任者】

志波 直人

【何を学ぶか】

- ・運動器系の正常構造と機能を理解し、主な運動器疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。
- ・リハビリテーションの基本を学ぶ

【獲得すべき能力（全体）】

運動器（骨・関節・筋肉・神経系）の構造と機能を理解する。

そしてそれが破綻する病態（[外傷](#)、変性、炎症、腫瘍）を理解する。

さらに各々の病態に対応した治療とリハビリテーションによる社会復帰までの流れを理解する。

【獲得すべき能力（個別）】

[医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版\(整形外科\)](#) 参照

【身に着けてほしい能力】

- ・運動器の解剖（骨・関節の構造、神経・血管・筋・腱の走行など）を理解する
- ・運動器を障害する病態の種類（[外傷](#)、炎症、変性、腫瘍、代謝異常など）を理解する
- ・病態に応じた保存的治療・手術的治療、その後のリハビリテーションを理解する

【評価方法】

出席及び試験

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題については、必ず、専門書や教科書（指定図書）で確認する習慣を身に着ける。

インターネットでは誤った情報も氾濫しているので十分に注意をすること。

【問い合わせ】

1. seikei@med.kurume-u.ac.jp
2. 0942-31-7568（内線 3624）
3. 整形外科医局（臨床研究棟5F）

 [質疑応答掲示板](#)

 [科目DB](#)

 [指定・参考図書](#)

 [英語DB](#)

 [用語集](#)

 [科目評価（新）](#)

 [医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版\(整形外科\)](#)

【単元】

[脊髄損傷](#)のリハビリ

【講義担当者】

松瀬 博夫

【学習目標各論】

[脊髄損傷](#)について理解し、そのリハビリテーションを中心とした基本的手技について説明できる。

【準備学習】

医学書院2018

「リハビリテーション医学・医療コアテキスト」

各論3[脊髄損傷](#)の頁を参考に病態を理解しておく。

6/2（水） 7限

【単元】

外科系 I

【講義担当者】

佐藤 公昭

【学習目標各論】

整形外科における診療ガイドラインの現状を例にEBM、ガイドラインについての理解を深める。

【準備学習】

予習：診療ガイドラインについて調べておく。

復習：整形外科疾患の診療ガイドラインについて理解を深める。

6/4（金） 1限

【単元】

総論 I

【講義担当者】

志波 直人

【学習目標各論】

整形外科疾患の診断と治療学総論

【準備学習】

運動器の診療の基礎について学ぶ。

徒手筋力テストについて予習する。

治療総論についても予習すること。

6/4（金） 2限

【単元】

総論 II

【講義担当者】

志波 直人

【学習目標各論】

整形外科とは、ロコモとは

加齢による運動器の障害

[骨粗鬆症](#)、サルコペニア（[筋肉減少症](#)）など

【準備学習】

予習

- ・ロコモの概念
- ・ロコモの原因疾患

復習

- ・上記を理解する

6/4（金） 7限

【単元】

最新スポーツ予防医学

【講義担当者】

村上 秀孝

【学習目標各論】

国際スポーツ大会での医療体制・トップチームでのメディカルサポートや

アンチ・ドーピングの知識を深める。

【準備学習】

アンチ・ドーピングホームページ閲覧

<https://www.playtruejapan.org/>

6/7（月） 1限

【単元】

[外傷 I](#)

【講義担当者】

吉田 健治

【学習目標各論】

手の[外傷](#)（機能解剖）

【準備学習】

手・前腕の解剖（筋、骨、神経、動脈、静脈）

6/7（月） 2限

【単元】

外傷Ⅱ

【講義担当者】

吉田 健治

【学習目標各論】

骨・関節外傷各論（主として上肢の骨折、治療方法、合併症など）

【準備学習】

各骨折（小児の肘周辺、成人の鎖骨、上腕骨、橈骨、尺骨、舟状骨、中手骨、指骨など）

6/8（火） 1限

【単元】

リハビリテーション医学Ⅰ

【講義担当者】

名護 健

【学習目標各論】

運動器疾患のリハビリテーションを理解する。

その基本的手技について説明できる。

【準備学習】

ADLの評価

骨格筋の分類と特性を調べておく。

6/8（火） 2限

【単元】

腰痛症

【講義担当者】

佐藤 公昭

【学習目標各論】

成因、分類、診断、治療法等

【準備学習】

予習：腰痛の成因や分類について調べておく

復習：腰痛の診断・治療法について理解を深める

6/9（水） 1限

【単元】

小児整形外科Ⅰ

【講義担当者】

中村 英智

【学習目標各論】

发育性股関節脱臼に関しての成因、診断、治療について

述べることができる。

【準備学習】

各疾患の、頻度、病態、治療法を理解する

6/9（水） 2限

【単元】

小児整形外科Ⅱ

【講義担当者】

中村 英智

【学習目標各論】

先天性[内反足](#)、先天性筋斜頸に関しての成因、診断、治療について

述べることができる。

【準備学習】

各疾患の、頻度、病態、治療法を理解する

6/10（木） 1限

【単元】

骨病Ⅰ

【講義担当者】

濱田 哲矢

【学習目標各論】

各骨系統疾患の概要、特徴を理解する。

骨代謝に関する基礎知識を理解する。

骨・軟骨代謝のどこに異常をきたしているのかを理解する。

【準備学習】

標準整形外科学の骨系統疾患を読んでおく。

6/10（木） 2限

【単元】

骨病Ⅱ

【講義担当者】

平岡 弘二

【学習目標各論】

骨・軟部腫瘍（良性腫瘍）

骨・軟部腫瘍（悪性腫瘍）

【準備学習】

骨・関節の解剖

6/11（金） 2限

【単元】

[外傷Ⅲ](#)

【講義担当者】

田淵 幸祐

【学習目標各論】

下肢のスポーツ傷害

【準備学習】

予習：膝・足の骨・靱帯の解剖を理解する。

6/11（金） 3限

【単元】

骨・関節疾患Ⅰ

【講義担当者】

大川 孝浩

【学習目標各論】

[変形性関節症](#)、大腿骨頭壊死症、リウマチ、関節炎、通風、

強直性関節炎の原因、病期、治療等。

【準備学習】

[変形性関節症](#)、大腿骨頭壊死症、リウマチ性関節炎、通風性関節炎、強直性脊椎炎

6/11（金） 4限

【単元】

骨・関節疾患Ⅱ

【講義担当者】

大川 孝浩

【学習目標各論】

[骨髓炎](#)、化膿性・結核性関節炎等。

【準備学習】

予習：

復習：

6/14（月） 1限

【単元】

[外傷Ⅳ](#)

【講義担当者】

後藤 昌史

【学習目標各論】

肩関節周辺の[外傷](#)と肩関節疾患

【準備学習】

予習：肩関節の基本的な解剖

復習：疾患の病態と治療法

6/14（月） 2限

【単元】

その他の脊椎・脊髄疾患

【講義担当者】

佐藤 公昭

【学習目標各論】

脊椎・脊髄の腫瘍、炎症性疾患、先天性疾患などを理解する。

【準備学習】

予習：脊椎・脊髄の腫瘍、感染、先天性疾患について調べておく。

復習：脊椎・脊髄の腫瘍、感染、先天性疾患の診断、治療法について理解を深める。

6/15（火） 1限

【単元】

リハビリテーションの概念と脳血管障害のリハビリテーション

【講義担当者】

柳 東次郎

【学習目標各論】

脳血管障害のリハビリテーションについて理解し、その基本的手技について説明できる。

リハビリテーションの理念について述べることができる。

【準備学習】

予習：リハビリテーションの理念、脳血管障害のリハビリについて調べておく

復習：講義内容を復習する

参考資料：『虚血性中枢神経障害の基礎と臨床』

真興交易(株)医書出版部“2-(5)慢性期脳梗塞の治療”；184-205(2016)牛島一男；編纂

6/15（火） 2限

【単元】

運動器の[慢性疼痛](#)Ⅰ

【講義担当者】

山田 圭

【学習目標各論】

1. 運動器の疼痛の種類と発生機序：

侵害受容性疼痛・神経障害性疼痛・心理社会的疼痛

2. 運動器[慢性疼痛](#)の疫学

3. [慢性疼痛](#)が個人と社会に与える影響

4. Red flagを見逃さないために

【準備学習】

事前配布資料を学習し上記の項目を理解する

事前課題の中から問題を提示しますので、よく読んでおいて下さい。

6/15（火） 5限

【単元】

リハビリテーション医学Ⅱ

【講義担当者】

名護 健

【学習目標各論】

1. 基本的な理念を理解する。
2. リハビリテーションチームの医療の構成、職種、役割、福祉と介護の連携について説明できる。
3. 骨・関節疾患のリハビリテーションを理解し、その基本的手技について説明できる。

【準備学習】

予習：講義シラバス内容を読んでおく。

復習：講義内容を復習しておく。

6/15（火） 6限

【単元】

外科系Ⅱ

【講義担当者】

平岡 弘二

【学習目標各論】

診療ガイドラインがEBMに基づく実例を紹介しながらEBMの必要性を考える

【準備学習】

EBMの定義を調べておく。

ガイドラインについて調べる。

6/16（水） 1限

【単元】

人工関節の基礎と臨床

【講義担当者】

大川 孝浩

【学習目標各論】

主なる関節疾患の手術的治療の代表的手法として人工関節置換術の利点とriskについて理解し、新しい材料を用いた人工関節開発分野でのup dateについて述べる事ができる。

【準備学習】

6/16（水） 2限

【単元】

[外傷Ⅴ](#)

【講義担当者】

仲摩 憲次郎（吉田 史郎）

【学習目標各論】

神経・血管の[外傷](#)（切断肢に対する再接着を含む）

【準備学習】

神経の解剖

感覚機能検査

運動機能検査

6/16（水） 4限

【単元】

タイトル未定

【講義担当者】

松垣 亨

【学習目標各論】

【準備学習】

6/17（木） 1限

【単元】

リハビリテーション医学Ⅲ

【講義担当者】

名護 健

【学習目標各論】

1. 義肢、装具の種類とそれぞれの効果、目的を理解し、その適応を説明できる。
2. 物理療法の種類とそれぞれの効果、目的を理解し、その適応を説明できる。
3. 物理療法の適応と禁忌について説明できる。

【準備学習】

予習：講義シラバス内容を読んでおく

復習：義肢、装具の種類とその適応について理解を深める。

又、物理療法の適応と禁忌について理解を深める。

6/17（木） 5限

【単元】

頸椎・胸椎疾患

【講義担当者】

佐藤 公昭

【学習目標各論】

頸椎・胸椎疾患の成因、分類、診断、治療法等を理解する。

【準備学習】

予習：[脊髄症](#)と[神経根症](#)について調べておく。

復習：頸椎・胸椎疾患について理解を深める

6/17（木） 6限

【単元】

運動器の[慢性疼痛](#)Ⅱ

【講義担当者】

山田 圭

【学習目標各論】

1. 痛みの評価方法
2. 生体内鎮痛メカニズム
3. [慢性疼痛](#)の発生機序
4. 運動器 [慢性疼痛](#)の治療戦略

病態に応じ薬物治療

運動療法

認知行動療法

[集学的治療](#)

【準備学習】

事前配布資料を学習し上記の項目を理解する

6/17（木） 7限

【単元】

外科系Ⅲ

【講義担当者】

吉田 史郎

【学習目標各論】

四肢[外傷](#)の救急処置

- ・開放[骨折](#)の初期治療を理解する。
- ・四肢の血管、神経損傷を診断する。
- ・[脱臼](#)の診断、整復法を理解する。
- ・多発[外傷](#)の初期治療を理解する。

【準備学習】

[外傷](#)の定義と分類、開放[骨折](#)の治療、脂肪塞栓症候群の診断と治療

コンパートメント症候群の診断と治療

6/18（金） 1限

【単元】

[外傷](#)Ⅶ

【講義担当者】

横須賀 公章

【学習目標各論】

脊椎の[外傷](#)、[脊髄損傷](#)

【準備学習】

予習：脊椎[外傷](#)、[脊髄損傷](#)の分類や徴候について調べておく。

復習：診断の手順や治療法について理解を深める。

試験問題・解答（本試験）

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト)

[Home](#)

[日本語 \(ja\)](#)

[English \(en\)](#)

[日本語 \(ja\)](#)

[モバイルアプリを取得する](#)

2021 眼科

[ダッシュボード](#) / [マイコース](#) / [2021年度](#) / [2021年度・医学科](#) / [1学期](#) / [4年](#) / [2021 眼科](#)

眼科

【統括責任者】

吉田 茂生

【何を学ぶか】

私達が外界から得る情報の約60%は眼・視覚系に依存していると言われてきたが、近年の情報化社会では90%以上依存しているとも考えられる。

今あなたがこの文章を読んでいる時、眼・視覚系はどのように働いているのでしょうか？

眼球運動は主に滑動性運動で、文字を必死で追っている。注視しているときは輻湊している。近見のため、毛様体筋は緊張し、そのため毛様小帯は弛緩し、[水晶体](#)は厚くなっている。文字を読むときには、文字が[網膜](#)に投影されて、視細胞の主に錐体が興奮し、電気信号に変換される。その情報は[網膜](#)内の双極細胞などのシナプスで処理され、さらに神経節細胞に伝達される。その信号は視神経を通して外側膝状体に伝わり、そこから大脳皮質後頭葉の視覚野に到達する。その視覚信号がさらに大脳皮質で処理されて、意味ある文字として認識される。

このように複雑な機能がからみあっているが、まず眼球は直径が約2cmの小さな器官で、その重量も約7gなので両眼合わせても全体重のわずか約0.025%を占めるに過ぎない。しかし、私たちは生まれてから死ぬまで見るという行為で眼球を酷使している。見えるという機能は、眼球の実に様々な機能がくみ合わさっており、この機能を維持するために眼球は精緻に作られた臓器と言える。このような重要な機能が十分に維持できるように、眼には特殊な解剖・生理・生化学的な機構がある。目はカメラによくたとえられるが、いかなるカメラも眼球を越えることはできない。そして眼球はその酷使に耐え、その機能を維持できるようなシステムを持っており、100年は持つように作られている。この精密器械に狂いが生じると眼球でのいろいろな病気を来すことになる。

さらに我々の眼球は2個あり、両眼から情報が的確に入るように、常に両眼球で直視できる眼球運動系を持っている。

そして眼で集められた情報は視覚伝導路を介して、視中枢に伝えられ、我々はその認識により、思考、判断などが可能となる。

このように眼・視覚系に関して、眼球と視覚伝導路、そして眼球運動などの様々な機能が組み合わさって我々は「物が見える」ということができる。このように、どうして見えるか、それが障害された時の病態、診断、治療を学んで行く。

【獲得すべき能力（全体）】

眼・視覚系の構造と機能を理解し、眼・視覚系疾患の症候、病態、診断と治療を理解する。

【獲得すべき能力（個別）】

医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版

D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療

D-13 眼・視覚系

診断と検査の基本

D-13-2) ①基本的眼科検査（[視力](#)検査、[視野](#)検査、細隙灯顕微鏡検査、[眼圧](#)検査、[眼底](#)検査）を列挙し、それらの原理と適応を述べ、主要所見を解釈できる。

症候

<眼・視覚系に関する主要症候>

D-13-3)-(1) ①眼・視覚系に関する主要症候（[視力](#)障害、[視野](#)異常、色覚異常、眼球運動障害、眼脂・眼の充血、飛蚊症、眼痛）を列挙し、それらの発生機序、原因疾患と治療を説明できる。

<その他の症候>

D-13-3)-(2) ①めまい ②頭痛・頭重感 ③悪心・嘔吐

疾患

<眼・視覚系の良性疾病>

D-13-4)-(1) ①屈折異常（[近視](#)、[遠視](#)、[乱視](#)）と調節障害の病態生理を説明できる。

D-13-4)-(1) ②感染性角結膜疾患の症候、診断と治療を説明できる。

D-13-4)-(1) ③[白内障](#)の病因、症候、診断と治療を説明できる。

D-13-4)-(1) ④緑内障の病因を列挙し、それらの発生機序、症候と治療を説明できる。

D-13-4)-(1) ⑤[裂孔原性網膜剥離](#)の症候、診断と治療を説明できる。

D-13-4)-(1) ⑥糖尿病、高血圧・動脈硬化による[眼底](#)変化を説明できる。

D-13-4)-(1) ⑦[ぶどう膜炎](#)の病因、症候、診断と治療を説明できる。

D-13-4)-(1) ⑧[視神経炎](#)(症)・うつ血乳頭の病因、症候と診断を説明できる。

D-13-4)-(1) ⑨アルカリ、酸による化学損傷の症候と救急処置を説明できる。

D-13-4)-(1) ⑩ [網膜](#) 静脈閉塞症と動脈閉塞症の症候、診断と治療を説明できる。

<腫瘍性疾患>

D-13-4)-(2) ① [網膜](#) 芽細胞腫の症候、診断と治療を説明できる。

【身に着けてほしい能力】

講座特論では主に各大学の教授を招き、眼科の専門分野での治療や研究について学ぶ。

さらに眼科に興味ある人はアドバンストコースで、さらに最先端の眼科を学ぶ。

【評価方法】

(1)出席状態(5点)

(2)授業中の態度(5点)

(3)眼・視覚系の統合講義まとめの試験(90点)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

試験問題について質問がある場合は、後日教育主任 嵩が対応します。

【問い合わせ】

眼科医局（内線3699）

kurumeye@med.kurume-u.[ac.jp](mailto:kurumeye@med.kurume-u.ac.jp)

【その他】

講義資料は各講義担当者が原則持参する。

 [アナウンスメント](#)

 [質疑応答掲示板](#)

 [科目DB](#)

 [指定・参考図書](#)

 [英語DB](#)

 [用語集](#)

 [科目評価（新）](#)

5/31（月） 1限

【単元】

授業ガイダンス

眼球と付属器の構造と機能

先天異常

【講義担当者】

吉田 茂生

【学習目標各論】

1. 眼科学の歴史を知る
2. 眼球と付属器の構造と機能を説明できる（解剖、発生）
3. 先天異常疾患の症候、診断と治療を説明できる。

【準備学習】

標準眼科学

第1章 眼の構造と機能

第13章 視覚器の発生と先天異常

5/31（月） 2限

【単元】

屈折矯正

調節と加齢

【講義担当者】

門田 遊

【学習目標各論】

1. 屈折異常（[近視](#)、[遠視](#)、[乱視](#)）の病態生理を説明できる
2. 調節障害の病態生理を説明できる

【準備学習】

標準眼科学

第20章 [視力](#)

第21章 屈折と調節の基本

第22章 屈折・調節異常の治療

5/31（月） 3限

【単元】

[網膜](#)電図

視覚誘発電位

色覚障害

【講義担当者】

門田 遊

【学習目標各論】

1. 視覚情報の受容のしくみと伝導路を説明できる（電気生理学的検査の基本を含む）
2. 色覚障害を概説できる

【準備学習】

標準眼科学

第2章 電気生理学的検査

第23章 色覚

6/1（火） 1限

【単元】

身体診察と基本的眼科検査

【講義担当者】

髙 翔太郎

【学習目標各論】

1. 身体診察（[視野](#)、瞳孔、眼球運動、結膜、[眼底](#)）について原理を述べ、主要所見を解釈できる。
2. 基本的眼科検査（[視力](#)、[眼圧](#)、[視野](#)、細隙灯顕微鏡、[眼底](#)、その他）を列挙し、それらの原理と適応を述べ、主要所見を解釈できる。

【準備学習】

標準眼科学

第2章 眼疾患の問診 症状と検査の進め方

第16章 神経眼科

第17章 [視野](#)

第20章 [視力](#)

6/1（火） 2限

【単元】

身体診察と基本的眼科検査

【講義担当者】

髙 翔太郎

【学習目標各論】

1. 身体診察（[視野](#)、瞳孔、眼球運動、結膜、[眼底](#)）について原理を述べ、主要所見を解釈できる。
2. 基本的眼科検査（[視力](#)、[眼圧](#)、[視野](#)、細隙灯顕微鏡、[眼底](#)、その他）を列挙し、それらの原理と適応を述べ、主要所見を解釈できる。

【準備学習】

標準眼科学

第2章 眼疾患の問診 症状と検査の進め方

第16章 神経眼科

第17章 [視野](#)

第20章 [視力](#)

6/1 (火) 3限

【単元】

[ぶどう膜炎](#)

【講義担当者】

實吉 安信

【学習目標各論】

1. [ぶどう膜炎](#)の原因、症候、診断と治療を説明できる
2. 3大[ぶどう膜炎](#)、感染性[ぶどう膜炎](#)

【準備学習】

標準眼科学 第4章 [ぶどう膜](#)

A. [ぶどう膜](#)の形態と機能

B. [ぶどう膜](#)の先天性疾患

C. [ぶどう膜](#)腫瘍性疾患

D. [ぶどう膜炎](#)総論

E. [ぶどう膜炎](#)各論

1. [ぶどう膜炎](#)とは

2. [ぶどう膜炎](#)の分類

1) 肉芽腫性、非肉芽腫性：

肉芽腫性[ぶどう膜炎](#)； サルコイドーシス、Vogt-小柳-原田病

非肉芽腫性[ぶどう膜炎](#)； ベーチェット病

2) 解剖学的分類

- ・ 前部[ぶどう膜炎](#)
- ・ 中間部[ぶどう膜炎](#)
- ・ 後部[ぶどう膜炎](#)
- ・ 汎[ぶどう膜炎](#)

3) 外因性、内因性：

内因性：非感染性 ①自己免疫疾患や膠原病に伴なうもの

サルコイドーシス、ベーチェット病、Vogt-小柳-原田病

②悪性腫瘍

外因性：感染性-細菌、寄生虫など

3. 症状：飛蚊症 [視力](#)障害 霧視 眼痛 充血 流涙 羞明

1. 内因性[ぶどう膜炎](#)

3大[ぶどう膜炎](#)：1) ベーチェット病 2) サルコイドーシス 3) Vogt-小柳-原田病

1) ベーチェット病

- ・ 主症状を（発病からすべての症状がそろわわけではない）繰り返しつつ、慢性の経過をとる全身性炎症疾患

主症状

- ①口腔粘膜の再発性アフタ潰瘍

②皮膚症状：結節性紅斑、毛嚢炎様皮疹、血栓性静脈炎など

③外陰部潰瘍

④眼症状：再発性の**ぶどう膜炎**

副症状

関節炎、副睾丸炎、消化器病変、血管病変、中枢神経病変

- ・ **ぶどう膜炎**：両眼性・発作性・再発性・非肉芽腫性

虹彩毛様体炎型（前眼部型）と**網膜ぶどう膜炎**型（後眼部型）に

大別されるが合併することがしばしば

- ・ 眼所見：**前房**蓄膿、網脈絡膜炎

- ・ HLA-B51陽性が多い

- ・ 治療：

-眼炎症発作を抑制：

コルヒチン、免疫抑制薬、

抗ヒトTNF-α抗体治療（インフリキシマブ）

-眼炎症発作時：副腎皮質ステロイド薬の局所投与（副腎皮質ステロイド薬の全身投与は禁忌！局所投与はOK！

6/1（火） 4限

【単元】

ぶどう膜炎

【講義担当者】

實吉 安信

【学習目標各論】

1. **ぶどう膜炎**の原因、症候、診断と治療を説明できる
2. 3大**ぶどう膜炎**、感染性**ぶどう膜炎**

【準備学習】

標準眼科学 第4章 **ぶどう膜**

ぶどう膜炎をきたす疾患

1. 内因性**ぶどう膜炎**

3大**ぶどう膜炎**：1) ベーチェット病 2) サルコイドーシス 3) Vogt-小柳-原田病

2) サルコイドーシス

- ・ 両眼性、肉芽腫性**ぶどう膜炎**

・ 眼所見：**虹彩**毛様体炎、豚脂様**角膜後面沈着物**、**虹彩**結節、テント状周辺**虹彩**前癒着、隅角結節、雪玉状、数珠状**硝子体**混濁、**網膜**静脈周囲炎

- ・ 胸部X線：両側肺門部リンパ節腫脹（BHL）

・ 検査所見：血清ACE・リゾチーム高値、血清可溶性インターロイキン-2 受容体（sIL-2R）高値、気管支肺胞洗浄液のリンパ球の増加（CD4/8の上昇）

- ・ 組織診断（非乾酪性類上皮細胞肉芽腫）：経気管支肺生検などによる

- ・治療：副腎皮質ステロイド薬の局所、全身投与

3) Vogt-小柳-原田病

- ・メラニン細胞に対する自己免疫機序
- ・両眼性、肉芽腫性**ぶどう膜炎**
- ・眼所見：虹彩毛様体炎、**漿液性網膜剥離**、回復期に夕焼け状**眼底**
- ・眼外所見：髄液細胞増多、感音性難聴、回復期に皮膚白斑、白髪
- ・HLA-DR4陽性が多い
- ・治療：副腎皮質ステロイド薬の大量漸減投与、（再発・遷延）免疫抑制薬

4) 交感性眼炎

- ・メラニン細胞に対する自己免疫機序
- ・臨床的には原田病と同様だが、穿孔性外傷や内眼手術時に引き続いておこる

5) 急性前部**ぶどう膜炎**

- ・若年男性、片眼性
- ・**前房**蓄膿を伴うことがある
- ・HLA-B27陽性
- ・強直性脊椎炎の合併

2. 感染性**ぶどう膜炎**

1) ヘルペス性**ぶどう膜炎**

2) 急性**網膜**壊死

3) サイトメガロウイルス**網膜炎**

4) ヒトTリンパ球向性ウイルス I 型（HTLV-I）関連**ぶどう膜炎**

5) 結核性**ぶどう膜炎**

6) 梅毒性**ぶどう膜炎**

7) 眼トキソプラズマ症

8) 真菌性眼内炎

3. 仮面症候群

眼・中枢神経系悪性リンパ腫

眼内悪性リンパ腫（原発眼内悪性リンパ腫）

- ・眼および中枢神経を侵す悪性リンパ腫のうち、眼内原発のもの
- ・原因不明の慢性**ぶどう膜炎**として治療されていることが多い（仮面症候群）
- ・生命予後不良：中枢神経病変を合併しやすい

6/2（水） 1限

【単元】

網膜血管障害

【講義担当者】

吉田 茂生

【学習目標各論】

1. 糖尿病、高血圧、動脈硬化による[眼底](#)変化が説明できる。
2. [糖尿病網膜症](#)の症候、診断と治療を説明できる。
3. [網膜](#)静脈閉塞症と[網膜](#)動脈閉塞症の症候、診断と治療を説明できる。

【準備学習】

標準眼科学

第8章 [網膜](#)

第14章 全身疾患と眼

6/2（水） 2限

【単元】

[網膜](#)血管障害

【講義担当者】

吉田 茂生

【学習目標各論】

1. 糖尿病、高血圧、動脈硬化による[眼底](#)変化が説明できる。
2. [糖尿病網膜症](#)の症候、診断と治療を説明できる。
3. [網膜](#)静脈閉塞症と[網膜](#)動脈閉塞症の症候、診断と治療を説明できる。

【準備学習】

標準眼科学

第8章 [網膜](#)

第14章 全身疾患と眼

6/2（水） 3限

【単元】

[網膜](#)変性疾患

眼内腫瘍

[網膜](#)芽細胞腫

【講義担当者】

岩田 健作

【学習目標各論】

1. [網膜](#)検査の概要を説明できる。
2. [網膜](#)変性疾患の病態、検査、診断、治療を説明できる。
3. 眼内腫瘍の病態、検査、診断、治療を説明できる。

<主な疾患>

網膜色素変性、未熟児網膜症、脈絡膜腫瘍、網膜芽細胞腫

【準備学習】

標準眼科学

第8章 網膜 各論：主な網膜疾患 E 網膜色素変性と類縁疾患

第12章 腫瘍

6/2（水） 4限

【単元】

網膜変性疾患

眼内腫瘍

網膜芽細胞腫

【講義担当者】

岩田 健作

【学習目標各論】

1. 網膜検査の概要を説明できる。
2. 網膜変性疾患の病態、検査、診断、治療を説明できる。
3. 眼内腫瘍の病態、検査、診断、治療を説明できる。

<主な疾患>

網膜色素変性、未熟児網膜症、変性近視、脈絡膜腫瘍、網膜芽細胞腫

【準備学習】

標準眼科学

第8章 網膜 各論：主な網膜疾患 E 網膜色素変性と類縁疾患

第12章 腫瘍

6/3（木） 1限

【単元】

黄斑疾患

網膜剥離

【講義担当者】

春田 雅俊

【学習目標各論】

1. 網膜剥離を説明できる。
2. 裂孔原性網膜剥離の症候、診断と治療を説明できる。
3. 続発性緑内障の症候、診断と治療が説明できる。

【準備学習】

1. 標準眼科学 第4章 ぶどう膜

2. 標準眼科学 第7章 [硝子体](#)
3. 標準眼科学 第8章 [網膜](#)

6/3（木） 2限

【単元】
[黄斑疾患](#)
[網膜剥離](#)

【講義担当者】
春田 雅俊

【学習目標各論】

1. [網膜剥離](#)を説明できる。
2. [裂孔原性網膜剥離](#)の症候、診断と治療を説明できる。
3. 続発性緑内障の症候、診断と治療が説明できる。

【準備学習】

1. 標準眼科学 第4章 [ぶどう膜](#)
2. 標準眼科学 第7章 [硝子体](#)
3. 標準眼科学 第8章 [網膜](#)

6/3（木） 3限

【単元】

眼球運動

【講義担当者】
岩田 健作

【学習目標各論】

眼球運動、眼球運動検査について説明ができる

【準備学習】

標準眼科学 第18章 眼球運動と両眼視機能

6/3（木） 4限

【単元】

眼球付属器、眼窩疾患、眼外傷

【講義担当者】
岩田 健作

【学習目標各論】

1. 眼球付属器(眼瞼、涙器)の疾患の成因、診断、治療を説明できる。
2. 眼窩疾患の成因、症候と診断を説明できる。
3. 眼外傷の成因と診断を説明できる。

【準備学習】

標準眼科学

第10章 眼瞼、結膜、涙器

第11章 眼窩

第12章 腫瘍

第15章 眼外傷と眼科救急・プライマリケア

6/4（金） 3限

【単元】

斜視・弱視・複視 1

【講義担当者】

阿久根 穂高

【学習目標各論】

- 1) 斜視、弱視の成因、診断、治療を説明できる。
- 2) 複視の成因、診断、治療を説明できる。

【準備学習】

弱視について

弱視の定義：屈折矯正をしても十分な視力が得られず、眼底に視力障害に相当する器質的疾患を認めないもの（＝視力が育っていない）

現在、「弱視」は2つの意味で用いられる。

- * 医学的弱視
- * 社会的弱視

視力とは、視覚感受性期間とは、適切な視覚刺激とは

弱視の種類・原因

- ① 形態覚刺激遮断弱視:視力の発育過程において、明視の刺激が抑えられた状態
- ② 屈折弱視: 両眼に強い遠視や乱視（+）
- ③ 不同視弱視: 片眼だけ高度な屈折異常（+）
- ④ 斜視弱視: 内側にずれている眼は使わない為（内斜視）

弱視の症状・診断

症状：テレビを前で見ると、眼を細める、見にくそう。片眼の場合は発見しにくい。 * 早期発見・早期治療が大切！

診断：

- 1) 視力検査:弱視の存在・程度を診る
- 2) 固視の確認：中心窩固視の有無

6/4（金） 4限

【単元】

斜視・弱視・複視 2

【講義担当者】

阿久根 穂高

【学習目標各論】

1. 斜視、弱視の成因、診断、治療を説明できる。
2. 複視の成因、診断、治療を説明できる。

【準備学習】

斜視について 総論

斜視の定義： 両眼の視線が一点に合わない状態（眼位ずれをひとつの兆候とした症候群）
斜視の分類と種類

偏位の方法による： 内斜視 外斜視 上下斜視 回旋斜視

外眼筋麻痺の有無による：外眼筋麻痺無し→ 共同性斜視、

外眼筋麻痺有り→ 麻痺性斜視（眼筋麻痺）

発現頻度による：恒常性、 間歇性斜視

発症時期による：先天性斜視、 後天性斜視

斜視の原因

1. 原因不明： 眼筋自身の異常・付着部異常（筋力）

外眼筋の支配神経のアンバランス

両眼視機能異常でも斜視になる

2. **遠視**：ある程度以上の**遠視**を調節するとそれに伴う輻輳のため内斜視となる（調節性内斜視）

3. **視力**不良：両眼視するにはある程度の**視力**が必要で、**視力**不良の眼がずれる（廃用性外斜視）

4. 眼筋麻痺：主な原因として、頭蓋内疾患・外傷・全身疾患→「各論」で説明

斜視の診断

1) 問診：発症時期、発現頻度、眼位（斜視角）の変動、**複視**の有無、

2) **視力**検査・対光反応：弱視の有無

3) 固視の確認

4) 眼位検査：眼の位置を診る

5) 斜視角の測定：斜視の角度を測る

6) 眼球運動

7) 精密屈折検査

8) **眼底**検査：：両眼視にはある程度の**視力**が必要（**眼底**疾患などで**視力**低下⇒廃用性外斜視）

9) 両眼視機能検査

→ 1) **複視**とは、「外界の映像が左右眼の**網膜**の対応点に一致せずに、ずれているために物が二重に見える状態」

= 固視している一つの物が二つに見える状態

単眼**複視** 片眼遮蔽しても**複視**が残存(原因： **乱視**・**白内障**等)

両眼**複視** 両眼だと**複視**を自覚し、片眼遮蔽で**複視**消失

* 突然の両眼**複視**⇒ 神経麻痺の重要なサインのひとつであるので、「脳精査の必要性」を念頭に!

・ 両眼**複視**の有無は、眼球運動でも確認する。

眼球運動が一見正常に見えても、ある方向で**複視**増大+その反対側で**複視**の軽減があれば麻痺の可能性あり。(ある方向=患眼の麻痺筋の作用方向)

→ 4) 眼位と 5) 斜視角（程度）の検査

Hirschberg法（°）：斜視眼の**角膜**反射位置で判定

プリズムによる検査（△）：(換算 1°=1.77△)

大型弱視鏡検査（シノプトフォア）

→ 6) 眼球運動：相対している筋力のバランスが崩れると強い筋の作用方向に眼球は引かれる

左眼) 外転（VI）神経麻痺の症例

左眼) 動眼（Ⅲ）神経麻痺の症例

* 眼性斜頸： 眼のずれの程度が見る方向で異なる場合、眼のずれが無い方向が正面になる頭位異常をとる。

原因疾患：麻痺性の上下斜視（先天性上斜筋麻痺など）

整形外科的な斜頸との鑑別法：両眼で見ると顔が傾くが、片眼遮蔽にて斜頸がなくなる。

通常と逆の頭位にすると眼のずれが増大する

右眼）先天性上斜筋麻痺の症例

→ 9）両眼視機能検査

両眼視とは、両眼を一つのまとまりとして使用することによって得られる視覚

- ① 同時視：異質像を同時に見る能力
- ② 融像：左右の網膜像を統一する能力
- ③ 立体視：三次元（立体）の視的認識

斜視の治療

目的：眼位をそろえて両眼で見させることで、両眼視機能の獲得・向上

1) 屈折矯正（眼鏡装用）

- ・調節性内斜視は遠視の眼鏡装用。
- ・弱視・屈折異常があれば、それを治療し視力向上することで斜視が出にくくなる。（手術前に行う）

2) 光学的治療：プリズム眼鏡（プリズムで眼位をそろえる）

3) 手術：手術にて眼位をそろえる

前転術・切除短縮術：筋を短くして強化

後転術：筋を後方移動して弛ませ弱化

4) ボツリヌス毒素注射療法：

各論

1）乳児内斜視（先天性）

- ・原因不明、・生後6ヶ月以内に発症
- ・両眼視機能不良が多い
- ・内斜眼が弱視になりやすい
- ・治療：弱視（+）なら、まず弱視治療（屈折矯正+遮蔽）

手術（内直筋後転術 外直筋前転術）

2）調節性内斜視（国試に頻出、特に写真）

- ・原因は遠視：ある程度以上の遠視（+2D～+8D）を調節するとそれに伴う輻輳のため内斜となる
- ・1～3歳の発症が多い
- ・屈折検査時必ず調節麻痺剤点眼を両眼にする
- ・治療：眼鏡による遠視の矯正（手術適応なし）

3）間歇性外斜視

- ・原因不明
- ・時々目が外を向く、・視力・両眼視機能良好が多い
- ・治療：程度により手術（内直筋前転術 外直筋後転術）

4）恒常性外斜視

- ・原因不明
- ・常に眼が外を向いている、・両眼視機能不良が多い
- ・治療：手術（内直筋前転術 外直筋後転術）

5）麻痺性斜視

- ・眼筋麻痺とも言い、眼球運動不良を伴う。原因疾患により、神経麻痺性・筋原性等が存在。

- ・頭位異常：眼のずれの程度が見る方向で異なるので、眼のずれが無い方向が正面になる頭位異常をとる

眼筋麻痺

先天性（殆ど**複視**は訴えない）：先天性上斜筋麻痺、斜視特殊型

後天性（突然の**複視**を自覚）⇒脳精査が必要（画像検査） ex動眼神経麻痺は要注意。

検査：頭位・眼位検査、眼球運動検査、

眼筋機能検査、画像診断、眼筋電図、

血液検査(甲状腺機能・自己抗体、血糖値など)

治療

- ・まず原因検索し、原因に対する治療施行(担当科にて)
- ・神経麻痺の場合、自然治癒も多いので、まずは経過観察
- ・経過観察中に、**複視**に対してプリズム眼鏡装用・ボツリヌス毒素注射療法
- ・6ヶ月以上の経過後に**複視**が残存すれば手術治療

6/7（月） 3限

【単元】

アデノウイルス

角膜上皮

角膜内皮、**角膜**移植、アイバンク

【講義担当者】

門田 遊

【学習目標各論】

- ・伝染性結膜疾患の症候、診断と治療を説明できる。
- ・結膜、**角膜**疾患の成因、症候、診断と治療を説明できる。
- ・化学外傷（アルカリ、酸）の症候と救急処置を説明できる。
- ・**角膜**移植とアイバンクを説明できる。

【準備学習】

標準眼科学

第1章 付属器の構造と機能

第2章 眼疾患の所見と症状

第10章 結膜

第3章 **角膜**

第15章 眼の外傷・眼科と救急疾患

6/7（月） 4限

【単元】

アデノウイルス

角膜上皮

角膜内皮、角膜移植、アイバンク

【講義担当者】

門田 遊

【学習目標各論】

- ・ 伝染性結膜疾患の症候、診断と治療を説明できる。
- ・ 結膜、角膜疾患の成因、症候、診断と治療を説明できる。
- ・ 化学外傷（アルカリ、酸）の症候と救急処置を説明できる。
- ・ 角膜移植とアイバンクを説明できる。

【準備学習】

標準眼科学

第1章 付属器の構造と機能

第2章 眼疾患の所見と症状

第10章 結膜

第3章 角膜

第15章 眼の外傷・眼科と救急疾患

6/8（火） 3限

【単元】

緑内障

【講義担当者】

辻 拓也

【学習目標各論】

1. 緑内障の定義、疫学について理解し説明できる。
2. 房水循環、眼圧、隅角の構造や検査、眼底所見について理解し説明できる。
3. 緑内障性視神経症、視野検査について理解し説明できる。

【準備学習】

標準眼科学

第6章 緑内障

第17章 視野

緒言：

緑内障は我が国における失明原因の常に上位を占め、社会的にも重要な疾患である。2000-2002年に行われた詳細な疫学調査（多治見スタディ）では、40歳以上の有病率は約5%であった。さらに同疫学調査において新規発見率は89%であったことから、わが国では、未だ治療を受けていない患者が多数潜在していることが明らかになった。

定義：

緑内障は、視神経と[視野](#)に特徴的变化を有し、通常、[眼圧](#)を十分に下降させることにより視神経障害を改善もしくは抑制しうる眼の機能的構造的異常を特徴とする疾患である。

(緑内障診療ガイドライン 第3版)

緑内障に関連する眼の構造と機能：

①房水 ②隅角 ③線維柱帯 ④毛様体 ⑤[視神経乳頭](#)

これらの解剖学的位置、構造、機能を理解する。

緑内障の診断に必要な検査：

①[眼圧](#)測定 ②[眼圧](#)日内変動検査 ③隅角検査 ④[視野](#)検査 ⑤[眼底](#)検査

⑥超音波生体顕微鏡検査(UBM) ⑦[光干渉断層計\(OCT\)](#) ⑦遺伝歴などの問診

これらの検査方法および検査結果の意味を理解する。

緑内障性視神経症：

視神経障害の機序、[視神経乳頭](#)および[網膜](#)神経線維層の変化、前[視野](#)緑内障について理解する。

6/8 (火) 4限

【単元】

緑内障

【講義担当者】

辻 拓也

【学習目標各論】

1. 緑内障の病型について理解し説明できる。
2. 緑内障の治療方法（薬物治療、レーザー治療、手術治療など）について理解し説明できる。

【準備学習】

標準眼科学

第6章 緑内障

第17章 [視野](#)

緑内障の分類および関連病態の診断基準：

I 原発緑内障：

1.[原発開放隅角緑内障](#)（広義）：

1)[原発開放隅角緑内障](#)

[原発開放隅角緑内障](#)（広義）のうち、緑内障性視神経症の発生進行過程において、[眼圧](#)が統計学的に規定された正常値を超えており、[眼圧](#)の異常な上昇が視神経症の発症に関与していることが強く疑われるサブタイプ。

2)[正常眼圧緑内障](#)

[原発開放隅角緑内障](#)（広義）のうち、緑内障性視神経症の発生進行過程において、[眼圧](#)が常に統計学的に規定された正常値に留まるサブタイプ。

高[眼圧](#)症

開放隅角で他の眼圧上昇を来す要因がなく、眼圧が統計学的に定められた正常上限を超えていながら、視神経や網膜神経線維層、視野に異常のないもの。

2. 原発閉塞隅角緑内障：

他の要因なく、遺伝的背景、加齢による前眼部形態の変化などで惹起される隅角閉塞により眼圧上昇を来し、緑内障性視神経症を生じうる疾患。

1) 隅角構造と緑内障性視神経症の有無による分類

① 原発閉塞隅角症疑い(primary angle closure suspect : PACS)

原発性の隅角閉塞があり、眼圧上昇も、器質的な周辺虹彩前癒着も緑内障性視神経症も生じていない症例。

② 原発閉塞隅角症(primary angle closure : PAC)

原発性の隅角閉塞があり、眼圧上昇または器質的な周辺虹彩前癒着を生じているが緑内障性視神経症は生じていない症例。

③ 原発閉塞隅角緑内障(primary angle closure glaucoma : PACG)

原発性閉塞隅角があり緑内障性視神経症を生じた症例。

2) 隅角閉塞機序による分類

相対的瞳孔ブロック、プラトー虹彩、水晶体因子など

3) 発症速度による分類(急性/慢性)

II 続発緑内障：

他の眼疾患、眼科手術、外傷、全身疾患あるいは薬物使用が原因となって眼圧上昇が生じる緑内障。

III 発達緑内障：

隅角形成異常に起因する緑内障

1. 早発型発達緑内障(原発先天緑内障)
2. 遅発型発達緑内障
3. 他の先天異常を伴う発達緑内障

これらの発症機序、症候、治療（薬物・手術）を理解する。

緑内障治療薬：

- ① プロスタグランジン関連薬 ② 交感神経遮断薬 ③ 炭酸脱水酵素阻害薬 ④ 副交感神経刺激薬 ⑤ 交感神経刺激薬 ⑥ ROCK阻害薬
⑦ 高張浸透圧薬 ⑧ 配合点眼薬

これらの作用機序、副作用を理解する。

緑内障の手術療法：

- ① レーザー虹彩切開術 ② レーザー線維柱帯形成術 ③ 毛様体破壊術(冷凍凝固、レーザー凝固) ④ 線維柱帯切除術 ⑤ 線維柱帯切開術 ⑥ 隅角癒着解離術 ⑦ 白内障手術 ⑧ チューブシャント手術

これらの手術療法および病型による手術適応を理解する。

6/9（水） 3限

【単元】
視神経疾患

【講義担当者】
大島 寛之

【学習目標各論】

1. 視神経の検査の概要を説明できる。
2. 視神経・うっ血乳頭の所見の説明ができる。

【準備学習】

標準眼科学

第9章 視神経

第16章 神経眼科

6/9（水） 4限

【単元】
視神経疾患

【講義担当者】
大島 寛之

【学習目標各論】

1. 視神経の検査の概要を説明できる。
2. 視神経・うっ血乳頭の所見の説明ができる。

【準備学習】

標準眼科学

第9章 視神経

第16章 神経眼科

6/10（木） 3限

【単元】

白内障

【講義担当者】
坂井 貴三彦

【学習目標各論】

- ・ [水晶体](#)の構造、発生、構成成分、生理代謝について理解する。
- ・ [水晶体](#)疾患の成因、症候、診断と治療を説明できる。
- ・ [白内障](#)の成因、症候、診断と治療を説明できる。

【準備学習】

標準眼科学

6/10（木） 4限

【単元】

[白内障](#)

【講義担当者】

坂井 貴三彦

【学習目標各論】

- ・ [水晶体](#)の構造、発生、構成成分、生理代謝について理解する。
- ・ [水晶体](#)疾患の成因、症候、診断と治療を説明できる。
- ・ [白内障](#)の成因、症候、診断と治療を説明できる。

【準備学習】

標準眼科学

第 5 章 [水晶体](#)

試験問題・解答（本試験）

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト)
[Home](#)

[日本語 \(ja\)](#)
[English \(en\)](#)
[日本語 \(ja\)](#)

[モバイルアプリを取得する](#)

2021 皮膚科

[ダッシュボード](#) / [マイコース](#) / [2021年度](#) / [2021年度・医学科](#) / [1学期](#) / [4年](#) / [2021 皮膚科](#)

皮膚科

【統括責任者】

名嘉真 武国

【何を学ぶか】

皮膚の構造と機能を理解し、主な皮膚疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。

【獲得すべき能力（全体）】

皮膚科学とは、皮膚疾患を対象とする臨床医学の1分野であり、健康皮膚の生理学・生物学ならびに皮膚に局限した病変および皮膚と関連する全身諸現象を考究する学問です。皮膚科教育ユニットでは皮膚科学の全般を学びます。

【獲得すべき能力（個別）】

構造と機能

- ①皮膚の組織構造を図示して説明できる。D-3-1)
- ②皮膚の細胞動態と角化の機構を説明できる。D-3-1)
- ③皮膚の免疫防御能を説明できる。D-3-1)

診断と検査の基本

- ①皮膚検査法（硝子圧法、皮膚描記法（Darier 徴候）、Nikolsky 現象、Tzanck 試験、光線テスト）を概説できる。D-3-2)
- ②皮膚アレルギー検査法（ブリックテスト、皮内テスト、パッチテスト）を説明できる。D-3-2)
- ③微生物検査法（検体採取法、苛性カリ<KOH>直接検鏡法）を概説できる。D-3-2)

症候

- ①**発疹** D-3-3)

疾患

(1) **湿疹・皮膚炎**

- ①**湿疹**反応を説明できる。D-3-4)-(1)
- ②**湿疹・皮膚炎**の疾患（**接触皮膚炎**、**アトピー性皮膚炎**、脂漏性**皮膚炎**、貨幣状**湿疹**、皮脂欠乏性**湿疹**、自家感作性**皮膚炎**）を列挙し、概説できる。D-3-4)-(1)

(2) **蕁麻疹、紅斑症、紅皮症と皮膚掻痒症**

- ①**蕁麻疹**の病態、診断と治療を説明できる。D-3-4)-(2)
- ②多形滲出性**紅斑**、環状**紅斑**と**紅皮症**の病因と病態を説明できる。D-3-4)-(2)
- ③皮膚掻痒症の病因と病態を説明できる。D-3-4)-(2)

(3) **紫斑・血流障害と褥瘡**

- ①皮膚血流障害と**褥瘡**の病因、症候と病態を説明できる。D-3-4)-(3)

(4) **薬疹・薬物障害**

- ①薬疹や薬物障害の発生機序、症候と治療を説明できる。D-3-4)-(4)
- ②薬疹を起こしやすい主な薬物を列挙できる。D-3-4)-(4)

(5) **水疱症と膿疱症**

- ①自己免疫性**水疱症**の病因、病態と分類を説明できる。D-3-4)-(5)
- ②**膿疱症**の種類と病態を説明できる。D-3-4)-(5)
- ③**水疱症**鑑別のための検査法を説明できる。D-3-4)-(5)

(6) **乾癬と角化症**

- ①**尋常性乾癬**、**扁平苔癬**と Gibert 薔薇色粒糠疹の病態、症候と治療を説明できる。D-3-4)-(6)
- ②**魚鱗癬**の病態、症候と治療を説明できる。D-3-4)-(6)

(7) **皮膚感染症**

- ①皮膚細菌感染症（**伝染性膿痂疹**、せつ、癰、毛囊炎、**丹毒**、**ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群**）を列挙し、概説できる。D-3-4)-(7)
- ②皮膚真菌症（表在性、深在性）の症候と病型を説明できる。D-3-4)-(7)
- ③皮膚結核菌の症候、病型と病因菌を説明できる。D-3-4)-(7)
- ④梅毒の症候、病期と合併症を説明できる。D-3-4)-(7)
- ⑤皮膚ウイルス感染症（単純ヘルペス、**帯状疱疹**、伝染性軟属腫、**麻疹**、**風疹**、**水痘**）を列挙し、概説できる。D-3-4)-(7)
- ⑥後天性免疫不全症候群<AIDS>に伴う皮膚症状（梅毒、難治性ヘルペス、伝染性軟属腫、カポジ肉腫等）を列挙し、概説できる。D-3-4)-(7)

(8) **母斑・腫瘍性疾患・腫瘍**

- ①母斑・母斑症の種類を列挙できる。D-3-4)-(8)
- ②皮膚良性腫瘍、前癌状態と悪性腫瘍の種類と見分け方を説明できる。D-3-4)-(8)
- ③皮膚悪性リンパ腫、**血管肉腫**を説明できる。D-3-4)-(8)
- ④基底細胞上皮腫(癌)の定義と病態、症候、臨床像とダーモスコピー像の所見、病理所見や診断、治療法を説明できる。D-3-4)-(8)

⑤ [有棘細胞癌](#)の定義と病態、症候、臨床像とダーモスコピー像の所見、病理所見や診断、治療法を説明できる。D-3-4)-(8)

⑥ [悪性黒色腫](#)の定義と病態、症候、臨床像とダーモスコピー像の所見、病理所見や診断、治療法を説明できる。D-3-4)-(8)

(9)付属器疾患

①毛の疾患の病態、症状と治療を説明できる。D-3-4)-(9)

②爪の疾患の病態、症状と治療を説明できる。D-3-4)-(9)

【身に付けてほしい能力】

皮膚科学は皮膚に病変のあるすべての疾患をあつかう広範囲な医学です。健康皮膚の生理学・生物学・免疫学・組織的な検討に始まり、各種の皮膚疾患の病態・皮膚病変を伴う内科的疾患および皮膚外科学を学びます。皮膚科学ユニットでは、皮膚病変のみ示す疾患のほか、全身疾患の部分症状としての皮膚病変についても学びます。

【評価方法】

筆記試験100点（場合により口頭試問）。

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

試験問題について質問がある場合は後日、教育主任 橋川が対応します。

【問い合わせ】

1. 0942-31-7571
2. 0942-35-3311（内線 3728）
3. 皮膚科学講座（臨床研究棟8F）

 [質疑応答掲示板](#)

 [科目DB](#)

 [皮膚科学の指定教科書1冊・参考図書 2冊](#)

 [英語DB](#)

 [用語集](#)

 [科目評価（新）](#)

6/2（水） 5限

【単元】[湿疹](#)・[皮膚炎 I](#)

【講義担当者】名嘉真武国

【学習目標各論】

[湿疹](#)反応を概説できる。

アトピー性[皮膚炎](#)の病因、症状、検査、治療、スキンケア

について説明できる。

[接触皮膚炎](#)の発症機序、症候、検査、治療について説明できる。

【準備学習】

予習：20分

復習：20分

[アトピー性皮膚炎接触皮膚炎](#)について予習・復習をする。

[予習用シラバス\(予習資料のため印刷は不要\)](#) 当日配布資料あり

6/9（水） 5限

【単元】[皮膚検査法](#)・[皮膚科治療法](#)

【講義担当者】橋川恵子

【学習目標各論】

皮膚一般検査法、皮膚アレルギー検査法、微生物検査法について概説できる。

皮膚疾患の治療法について概説できる。

皮膚疾患に対するレーザー治療の種類と適応について説明できる。

【準備学習】

予習：20分

復習：20分

皮膚検査法、皮膚科治療法について予習・復習をする。

[予習用シラバス\(予習資料のため印刷は不要\)](#) 当日配布資料あり

6/9（水） 6限

【単元】薬疹、薬物障害

【講義担当者】橋川恵子

【学習目標各論】

薬疹の発生機序を説明できる。

薬疹の種類と症候、治療を概説できる。

薬疹を起こしやすい主な薬物を列挙できる。

【準備学習】

予習：20分

復習：20分

薬疹、薬物障害について予習・復習をする。

[予習用シラバス\(予習資料のため印刷は不要\)](#) 当日配布資料あり

6/3（木） 5限

【単元】皮膚真菌症

【講義担当者】楠原正洋

【学習目標各論】

皮膚病原性真菌の種類と特徴を概説できる。

皮膚表在性真菌症と深在性皮膚真菌症の症候と病型、診断、治療を説明できる。

【準備学習】

予習：20分

復習：20分

皮膚真菌症について予習・復習をする。

[予習用シラバス\(予習資料のため印刷は不要\)](#) 当日配布資料あり

5/31（月） 5限

【単元】皮膚の構造と機能

【講義担当者】古賀浩嗣

【学習目標各論】

皮膚の組織構造を図示して説明できる。

皮膚の細胞動態と角化、メラニン形成の機構を説明できる。

皮膚の免疫防御反応を説明できる。

皮脂分泌、発汗、経皮吸収を説明できる。

【準備学習】

予習：20分

復習：20分

皮膚の構造と機能について予習・復習をする。

[予習用シラバス\(予習資料のため印刷は不要\)](#) 当日配布資料あり

6/7（月） 6限

【単元】母斑と色素異常症

【講義担当者】古賀浩嗣

【学習目標各論】

母斑・母斑症の種類を列挙できる。

良性色素性疾患と[悪性黒色腫](#)の鑑別を説明できる。

色素異常症の種類と病態を説明できる。

【準備学習】

予習：20分

復習：20分

母斑と色素異常症について予習・復習をする。

[予習シラバス\(予習資料のため印刷は不要\)](#) 当日配布資料あり

5/31（月） 6限

【単元】皮膚良性腫瘍

【講義担当者】武藤一考

【学習目標各論】

皮膚良性腫瘍の種類と症候、鑑別を説明できる。

皮膚良性腫瘍の治療について概説できる。

【準備学習】

予習：20分

復習：20分

皮膚良性腫瘍について予習・復習をする。

[予習用シラバス\(予習資料のため印刷は不要\)](#) 当日配布資料あり

6/7（月） 7限

【単元】[発疹](#)学

【講義担当者】荒川 正崇

【学習目標各論】

[発疹](#)の種類と主な原因を列記できる。

[発疹](#)の所見を記述して分類できる。

[発疹](#)患者の診断の要点を説明できる。

【準備学習】

予習：20分

復習：20分

[発疹](#)学について予習・復習をする。

[予習用シラバス\(予習資料のため印刷は不要\)](#) 当日配布資料あり

6/7（月） 5限

【単元】皮膚悪性腫瘍

【講義担当者】武藤一考

【学習目標各論】

前癌病変と悪性腫瘍について、その種類と鑑別を述べることができる。

[悪性黒色腫](#)の症候と治療を説明できる。

皮膚悪性リンパ腫、[血管肉腫](#)、組織球症を説明できる。

【準備学習】

予習：20分

復習：20分

皮膚悪性腫瘍について予習・復習をする。

[予習用シラバス\(予習資料のため印刷は不要\)](#) 当日配布資料あり

6/8（火） 6限

【単元】[蕁麻疹](#)・[紅斑](#)症・皮膚癢痒症

【講義担当者】石井文人

【学習目標各論】

[蕁麻疹](#)の病態、診断と治療を説明できる。

多形浸出性[紅斑](#)、環状[紅斑](#)、[紅皮症](#)の原因と病態を説明できる。

皮膚癢痒症の原因と病態を説明できる。

【準備学習】

予習：20分

復習：20分

[蕁麻疹](#)・[紅斑](#)症・皮膚癢痒症について予習・復習をする。

[予習シラバス\(予習資料のため印刷は不要\)](#) 当日配布資料あり

6/4（金） 6限

【単元】[湿疹](#)・[皮膚炎Ⅱ](#)

【講義担当者】名嘉真武国

【学習目標各論】

脂漏性[皮膚炎](#)、貨幣状[湿疹](#)、自家感作性[皮膚炎](#)、皮脂欠乏性[湿疹](#)について概説できる。

皮膚血流障害と**褥瘡**の原因、病態を説明できる。

【準備学習】

予習：20分

復習：20分

湿疹皮膚炎、**褥瘡**について予習・復習をする。

[予習用シラバス\(予習資料のため印刷は不要\)](#) 当日配布資料あり

6/9（水） 7限

【単元】全身疾患にともなう皮膚疾患、光線性皮膚疾患、皮膚付属器疾患

【講義担当者】橋川恵子

【学習目標各論】

全身疾患（代謝異常症、悪性腫瘍）の皮膚症状を列挙できる。

紫外線による皮膚疾患を概説できる。

付属器（毛包、脂腺、汗腺）の疾患について列挙し説明できる。

【準備学習】

予習：20分

復習：20分

全身疾患にともなう皮膚疾患、光線性皮膚疾患、皮膚付属器疾患について予習・復習をする。

[【予習シラバス\(予習資料のため印刷は不要\)】](#) 当日配布資料あり(当日予習用シラバスを配布します)

6/2（水） 6限

【単元】皮膚細菌・ウイルス感染症、皮膚のSTI、皮膚寄生虫性疾患

【講義担当者】安元慎一郎

【学習目標各論】

皮膚の細菌・ウイルス感染症を列挙し概説できる。

STIの皮膚症状を説明できる。

疥癬の症候と治療、取り扱いについて説明できる。

【準備学習】

予習：20分

復習：20分

皮膚細菌・ウイルス感染症、皮膚のSTI、皮膚寄生虫性疾患について予習・復習をする。

[【予習シラバス\(予習資料のため印刷は不要\)】](#) 当日配布資料あり

6/4（金） 5限

【単元】**水疱**症と**膿疱**症

【講義担当者】石井文人

【学習目標各論】

自己免疫性[水疱](#)症の原因、病態と分類を説明できる。

[水疱](#)症鑑別のための検査法を説明できる。

[先天性表皮水疱症](#)の種類と病態を説明できる。

[膿疱](#)症の種類と病態を説明できる。

【準備学習】

予習：20分

復習：20分

[水疱](#)症と[膿疱](#)症について予習・復習をする。

[【予習シラバス\(予習資料のため印刷は不要\)】](#) 当日配布資料あり

6/3（木） 6限

【単元】乾癬と角化症

【講義担当者】大山文悟

【学習目標各論】

乾癬、類乾癬、他の炎症性角化症の病態、症候と治療を説明できる。

先天性角化症を列挙できる。

[掌跖膿疱症](#)の症候、病態、治療について概説できる。

【準備学習】

予習：20分

復習：20分

乾癬と角化症について予習・復習をする。

[【予習シラバス\(予習資料のため印刷は不要\)】](#) 当日配布資料あり

試験問題・解答（本試験）

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト)

[Home](#)

[日本語 \(ja\)](#)

[English \(en\)](#)

[日本語 \(ja\)](#)

[モバイルアプリを取得する](#)

2021 加齢・老化・死

[ダッシュボード](#) / [マイコース](#) / [2021年度](#) / [2021年度・医学科](#) / [1学期](#) / [4年](#) / [2021 加齢・老化・死](#)

加齢・老化・死

【統括責任者】

野村 政寿

【何を学ぶか】

加齢に伴う身体的変化、精神・心理的变化、高齢者に特有な疾患・病態の診断と治療、リハビリテーション、介護、人生の最終段階における医療（エンド・オブ・ライフ・ケア）に関わる問題を学ぶ。

【獲得すべき能力（全体）】

老化と高齢者の特徴を理解する。

【獲得すべき能力（個別）】

医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版

E 全身に及ぶ生理的变化、病態、診断、治療

E-8 加齢と老化

老化と高齢者の特徴

E-8-1) ①老化学説、老化制御、加齢に伴う臓器の構造的・機能的変化を説明でき、これによる予備能の低下等患者にもたらされる生理的变化を説明できる。

E-8-1) ②高齢者総合機能評価(comprehensive geriatric assessment <CGA>)を実施できる。

E-8-1) ③老年症候群（歩行障害・転倒、認知機能障害、排泄障害、[栄養](#)障害、摂食・嚥下障害等）の概念を説明できる。

E-8-1) ④フレイル、[サルコペニア](#)、ロコモティブ・シンドロームの概念、その対処法、予防が説明できる。

E-8-1) ⑤[認知症](#)、うつ、[せん妄](#)の違いを説明し、それぞれの鑑別、初期対応を実施できる。

E-8-1) ⑥歩行障害・転倒の評価、鑑別診断を行い、原因に応じた転倒予防・リハビリテーションを説明できる。

E-8-1) ⑦口腔機能低下、摂食・嚥下障害の評価、鑑別診断を行い、原因に応じた治療・リハビリテーション、予防を実施できる。

E-8-1) ⑧高齢者の[栄養](#)マネジメントを説明できる。

E-8-1) ⑨加齢に伴う薬物動態の変化、高齢者に対する薬物療法の注意点を説明でき、ポリファーマシーの是正等適切な介入が実施できる。

E-8-1) ⑩高齢者の障害及び廃用症候群を説明でき、それらに対するリハビリテーションを説明できる。

E-8-1) ⑪高齢者の退院支援と介護保険制度を説明できる。

E-8-1) ⑫高齢者の人生の最終段階における医療（エンド・オブ・ライフ・ケア）を説明できる。

E-9 人の死

生物的死と社会的死

E-9-1) ①死の概念と定義や生物学的な個体の死を説明できる。

E-9-1) ②植物状態と脳死の違いを説明できる。

E-9-1) ③内因死と外因死について違いと内容を説明できる。

E-9-1) ④突然死の定義を説明でき、突然死を来しうる疾患（乳幼児突然死症候群<SIDS>を含む）を列挙できる。

E-9-1) ⑤診療関連死を説明できる。

E-9-1) ⑥死に至る身体と心の過程を説明できる。その個性にも共感配慮できる。

E-9-1) ⑦人生の最終段階における医療（エンド・オブ・ライフ・ケア）での患者とのコミュニケーション、頻度の高い苦痛とその対処法・ケアを説明できる。

E-9-1) ⑧水・補液、[栄養](#)管理を含む人生の最終段階における医療（エンド・オブ・ライフ・ケア）と小児の特殊性を説明できる。

E-9-1) ⑨人生の最終段階における医療（エンド・オブ・ライフ・ケア）での本人の意思決定、事前指示、延命治療、Do not attempt resuscitation <DNAR>、尊厳死と安楽死、治療の中止と差し控えの概念を説明できる。

E-9-1) ⑩患者の死後の家族ケア（悲嘆のケア（グリーフケア））を説明できる。

【身に着けてほしい能力】

老化のメカニズム、高齢者の特徴を理解し、高齢者医療の重要性を理解すると同時に医療制度についての理解も深める。

【評価方法】

筆記試験

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

必要に応じて指導を行う。

【問い合わせ】

 [質疑応答掲示板](#)

 [科目DB](#)

 [指定・参考図書](#)

 [英語DB](#)

 [用語集](#)

 [科目評価（新）](#)

6/10（木） 5限

【単元】

老年医学総論

【講義担当者】

野村政壽

【学習目標各論】

- 1.老年医学を学ぶ理由を理解し説明できる。
- 2.わが国の人口動態について理解し説明できる。
- 3.高齢化社会の定義を理解し説明できる。
- 4.本邦が高齢化社会に至った原因について理解し説明できる。

【準備学習】

- ・ 過去50年間の老年人口の変化を調べ、わが国の高齢化の進展の程度を理解する。
- ・ 他の先進国の高齢化の現状について調べる。

6/10（木） 6限

【単元】

加齢・老化と内分泌疾患

【講義担当者】

蘆田健二

【学習目標各論】

加齢に伴う内分泌調節の変化につき概説できる。

【準備学習】

指定テキストの該当項目を読んでおく。

6/11（金） 5限

【単元】

皮膚の老化

【講義担当者】

荒川正崇

【学習目標各論】

- 1.皮膚の生理的老化と病的老化（特に[光老化](#)）との違いについて説明できる。

2.皮膚の加齢的变化に伴う皮膚症状・疾患の列挙し概説できる。

3.主な早老症候群について概説できる。

【準備学習】

指定テキストの該当項目を読んでおく。

6/11（金） 6限

【単元】

高齢者の泌尿器疾患

【講義担当者】

井川 掌

【学習目標各論】

1.高年齢の排尿状態の診断と治療について述べるができる。

2.過活動膀胱、尿失禁の病態を理解する。

3.老化と前立腺疾患について理解する。

4.老化による性機能低下、男性[更年期](#)障害について

【準備学習】

指定テキストの該当項目を読んでおく。

6/14（月） 3限

【単元】

高齢者に特有な症状

【講義担当者】

立石貴久

【学習目標各論】

高齢者にしばしばみられる[失神](#)、てんかんについて理解する。

高齢者に多いパーキンソン病患者の周術期の問題点、悪性症候群について理解する。

【準備学習】

指定テキストの該当項目を読んでおく。

6/14（月） 4限

【単元】

高齢者に多く認められる疾患と症状

【講義担当者】

三木浩司

【学習目標各論】

1.痴呆や[せん妄](#)を精神医学的に理解し、精神医療について学ぶ。

2.ターミナルケアを通し、[死](#)のあり方を理解する。

【準備学習】

指定テキストの該当項目を読んでおく。

6/14（月） 5限

【単元】

高齢者の消化器疾患

【講義担当者】

古賀浩徳

【学習目標各論】

- 1.高齢者の消化器疾患の特徴を理解する。
- 2.高齢者の栄養学的特徴と管理を理解する。
- 3.高齢者の消化器出血の特徴を理解する。
- 4.高齢者の悪性腫瘍の特徴を理解する。

【準備学習】

指定テキストの該当項目を読んでおく。

6/14（月） 6限

【単元】

高齢者の運動器疾患

【講義担当者】

佐藤公昭

【学習目標各論】

高齢者に特有な症状について述べることができる。
腰痛・歩行障害・転倒・骨折・寝たきり・褥瘡・廃用症候群

【準備学習】

予習：運動器の加齢変化とその徴候について調べておく。
復習：高齢者の運動器について理解を深める。

6/14（月） 7限

【単元】

高齢者の急性腎不全

【講義担当者】

森山智文

【学習目標各論】

- 1.加齢に伴う腎機能と腎組織の変化について学ぶ。
- 2.高齢者に多い急性腎不全の原因、病態、治療について学ぶ。

【準備学習】

指定テキストの該当項目を読んでおく。

6/15（火） 3限

【単元】

高齢者の心血管系疾患の診断，処置

【講義担当者】

榎本美佳

【学習目標各論】

高齢者の心血管系疾患の診断，処置を理解する。

【準備学習】

予習：高齢者の心血管疾患の特徴を考えておく。

復習：高齢者と若年、壮年者の心血管疾患の相違を理解する。

6/15（火） 4限

【単元】

高齢者の[栄養](#)マネジメント

【講義担当者】

蓮澤奈央

【学習目標各論】

高齢者の[栄養](#)マネジメントを説明できる。

【準備学習】

指定テキストの該当項目を読んでおく。

6/15（火） 7限

【単元】

高齢者の周術期管理

【講義担当者】

高森信三

【学習目標各論】

1.加齢による変化を学び高齢者の特徴を理解する。

2.高齢者の周術期管理の問題点を理解する。

【準備学習】

予習：[せん妄](#)について概略を予習する。[誤嚥性肺炎](#)について予習する

復習：加齢に伴う変化について復習する。

6/16（水） 5限

【単元】

加齢に伴う体組成の変化と疾患

【講義担当者】

永山綾子

【学習目標各論】

- 1.[サルコペニア](#)、フレイルの概念につき説明できる。
- 2.食習慣と体組成
- 3.運動習慣と内臓脂肪、筋肉、骨への影響を説明できる。

【準備学習】

指定テキストの該当項目を読んでおく。

6/16（水） 6限

【単元】

高齢者における薬剤処方

【講義担当者】

本村誠一

【学習目標各論】

- 1.高齢者の特徴を理解し、適切な薬剤処方について考える。
- 2.服薬管理の目的や方法につき理解する。

【準備学習】

指定テキストの該当項目を読んでおく。

6/16（水） 7限

【単元】

リハビリテーション医学

【講義担当者】

松瀬博夫

【学習目標各論】

- 1.高齢者の特性（運動器、循環器、知能、心理など）について述べることができる。
- 2.高齢者の生活支援について述べることができる。
- 3.介護と医療、介護保険制度とリハビリテーションについて述べることができる。

【準備学習】

指定テキストの該当項目を読んでおく。

6/17（木） 3限

【単元】

[高齢者虐待](#)

【講義担当者】

神田芳郎

【学習目標各論】

高齢者虐待の種類を列挙し、それぞれについて説明できる。

【準備学習】

予習：指定図書第1章14節を読んでおく。

時間：30分

6/17（木） 4限

【単元】

高齢者の救急疾患

【講義担当者】

山下典雄

【学習目標各論】

- 1.高齢者救急診療の特徴を理解する。
- 2.高齢者によく見られる救急疾患をあげることができる。
- 3.脳血管系、呼吸器系、循環器系、消化器系および外因性の救急疾患についての診断・救急処置について述べることができる。

【準備学習】

指定テキストの該当項目を読んでおく。

6/18（金） 4限

【単元】

加齢・老化とメタボリックシンドローム

【講義担当者】

安田淳一

【学習目標各論】

メタボリックシンドロームの概念につき理解する。

【準備学習】

指定テキストの該当項目を読んでおく。

6/18（金） 5限

【単元】

高齢化社会を支える医療制度

【講義担当者】

岩田慎平

【学習目標各論】

地域包括医療を理解する。

【準備学習】

指定テキストの該当項目を読んでおく。

6/18（金） 6限

【単元】

終末期医療を考える

【講義担当者】

野村政壽

【学習目標各論】

- 1.死の概念と定義や生物学的な個体の死を説明できる。
- 2.事前指示書を説明できる。

【準備学習】

指定テキストの該当項目を読んでおく。

試験問題・解答（本試験）

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト)
Home

- 日本語 (ja)
- English (en)
- 日本語 (ja)

モバイルアプリを取得する

2021 症候と病態 診療

[ダッシュボード](#) / [マイコース](#) / [2021年度](#) / [2021年度・医学科](#) / [1学期](#) / [4年](#) / [2021 症候と病態 診療](#)

症候と病態 診療

【統括責任者】

星野 友昭

【何を学ぶか】

主な症候・病態の原因、分類、診断と治療の概要を各分野統合して学ぶことにより、医師として必須となる診療の基本を修得する。

【獲得すべき能力（全体）】

1. 主要な症候・病態について、適切な身体診察および医療面接の方法を理解する。
2. 症状の発現に至る病態生理を理解する。
3. 年齢、性別を考慮した鑑別診断を挙げ、診断のポイントを述べることができる。
4. 原因疾患および病態に応じた治療を概説できる。

【獲得すべき能力（個別）】

[医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版（症候と病態 診療）](#) 参照

【身に着けてほしい能力】

病気の鑑別疾患を挙げ、診断する能力。

【評価方法】

筆記試験による。指定教科書の該当部分も試験範囲に含まれる。

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

【問い合わせ】

1. 東 公一 azuma@med.kurume-u.ac.jp
2. 0942-31-7560（内線 3687）

 [質疑応答掲示板](#)

 [科目DB](#)

 [指定・参考図書](#)

 [英語DB](#)

 [用語集](#)

 [科目評価（新）](#)

 [医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版（症候と病態 診療）](#)

6/24（木）1限

【単元】

血痰・咯血

【講義担当者】

川山 智隆 （呼吸器内科）

【学習目標各論】

1. 血痰・喀血の原因を列举できる。
2. 血痰・喀血を呈する患者の診断の要点を説明できる。

【準備学習】

喀血と吐血の鑑別

喀血をきたす動脈

6/24（木） 2限

【単元】

運動麻痺・筋力低下

【講義担当者】

谷脇 考恭 （脳神経内科）

【学習目標各論】

1. 運動麻痺・筋力低下の原因と病態を説明できる。
2. 運動麻痺・筋力低下を訴える患者の診断の要点を説明できる。

【準備学習】

ベッドサイドの診かた（南山堂）3章.4章.9章

神経内科ハンドブック（医学書院）3章12

6/24（木） 3限

【単元】

動悸

【講義担当者】

大江 征嗣 （心臓・血管内科）

【学習目標各論】

1. 動悸の原因を列挙し、その病態を説明できる。
2. 動悸を訴える患者の診断の要点を説明できる。

【準備学習】

講義にあたり、手持ちの教科書「頻脈性不整脈」「動悸」の項目を読んでください。

6/24（木） 5限

【単元】

[脱水](#)

【講義担当者】

甲斐田 裕介 （腎臓内科）

【学習目標各論】

1. [脱水](#)という言葉の意味について説明できる。
2. 3つのタイプの[脱水](#)（等張性[脱水](#)・低張性[脱水](#)・高張性[脱水](#)）の成立機序・臨床症状・診断へのアプローチ・治療について説明できる。
3. 消化液や汗を含めて体液の組成の特徴について説明できる。

【準備学習】

内科学書改訂第6版

P150～154

P264～267

6/24（木） 7限

【単元】

[嚥下](#)困難・障害

【講義担当者】

千年 俊一 （耳鼻咽喉科）

【学習目標各論】

1. [嚥下](#)運動のメカニズムについて説明できる。
2. [嚥下](#)困難・障害を来す基礎疾患と治療方法について説明できる。

【準備学習】

[嚥下障害](#)を来す疾患を理解しておく

6/25（金） 1限

【単元】

発熱

【講義担当者】

井田 弘明 （膠原病内科）

【学習目標各論】

1. 発熱のメカニズムについて理解する。
2. 発熱の原因となる疾患について簡潔に説明することができる。

【準備学習】

予習 朝倉内科学11版 p66-68

発熱した経験を思い出してその原因を考える。

6/25（金） 2限

【単元】

胸水

【講義担当者】

東 公一 （呼吸器内科）

【学習目標各論】

1. 胸水の原因と病態を説明できる。
2. 胸水を呈する患者の診断の要点を説明できる。

【準備学習】

教科書で胸水について調べる。

6/25（金） 3限

【単元】

咳・痰

【講義担当者】

星野 友昭 （呼吸器内科）

【学習目標各論】

1. 咳・痰の病因と病態を説明できる。
2. 咳・痰を訴える患者の診断の要点を説明できる。

【準備学習】

咳・痰

肺水腫

ARDS

心不全 について鑑別できる

6/25（金） 5限

【単元】

特別講義

【講義担当者】

東京大学[アレルギー・リウマチ内科](#)

藤尾 圭志先生

6/25（金） 6限

【単元】

特別講義

【講義担当者】

東京大学[アレルギー・リウマチ内科](#)

藤尾 圭志先生

6/28（月） 1限

【単元】

頭痛

【講義担当者】

立石 貴久（内科学（呼吸器・神経・膠原病））

【学習目標各論】

1. 頭痛の病態について理解する。
2. 主な一次性頭痛（片頭痛、緊張型頭痛、群発頭痛）の病態、治療について理解する。

【準備学習】

医学書院 『神経内科ハンドブック』

水野美邦 編集 3章—5 頭痛

6/28（月） 2限

【単元】

呼吸困難

【講義担当者】

富永 正樹（呼吸器内科）

【学習目標各論】

1. 呼吸困難の原因と病態を説明できる。
2. 呼吸困難の程度に関する分類を説明できる。
3. 呼吸困難患者の診断の要点を説明できる。
4. 呼吸困難患者に対する初期治療を概説できる。

【準備学習】

6/29（火） 1限

【単元】

出血傾向

【講義担当者】

長藤 宏司 （血液・腫瘍内科）

【学習目標各論】

1. 出血傾向の原因と病態を説明できる
2. 出血傾向を呈する患者の診断の要点を説明できる

【準備学習】

6/29（火） 2限

【単元】

貧血

【講義担当者】

長藤 宏司 （血液・腫瘍内科）

【学習目標各論】

1. 貧血の原因、分類と病態を説明できる
2. 貧血患者の診断の要点を説明できる

【準備学習】

6/29（火） 3限

【単元】

リンパ節腫脹

【講義担当者】

長藤 宏司 （血液・腫瘍内科）

【学習目標各論】

1. リンパ節腫脹の原因を列挙できる
2. リンパ節腫脹を呈する患者の診断の要点を説明できる。

【準備学習】

6/29（火） 4限

【単元】

小児の[下血](#)・[吐血](#)

【講義担当者】

石井 信二 （小児外科）

【学習目標各論】

[吐血](#)・[下血](#)をきたす疾患を年齢別に理解する。

【準備学習】

標準小児外科学の関連箇所を精読し予習すること。

復習には講義プリントも用いること。

6/30（水） 1限

【単元】

めまい

【講義担当者】

三橋 亮太 （耳鼻咽喉科）

【学習目標各論】

1. 末梢性めまいの症状と他覚的所見の関係を説明する。
2. 末梢性めまいと中枢性めまいの鑑別について説明する。

【準備学習】

末梢性めまいをきたす疾患と中枢性めまいをきたす疾患を予習する。

6/30（水） 2限

【単元】

小児の腹痛・腹部膨隆/腫瘍

【講義担当者】

深堀 優 （小児外科）

【学習目標各論】

1. 小児の腹痛，腹部膨隆，腫瘍をきたす疾患の種類，病態を理解する。
2. 小児の腹痛，腹部膨隆，腫瘍をきたす疾患の治療法を理解する。

【準備学習】

講義前に標準小児外科学の関連箇所を精読しておくことが望ましい。

復習は講義プリントを中心に行う。

6/30（水） 3限

【単元】

[全身倦怠感](#)

【講義担当者】

吉信 聡子 （内分泌代謝内科）

【学習目標各論】

1. [全身倦怠感](#)をきたす疾患をあげることができる。
2. 医療面接，身体診察のポイントを述べることができる。
3. 診断の進め方を述べることができる。

【準備学習】

予習

[全身倦怠感](#)の定義や原因疾患について調べる

復習

1. [全身倦怠感](#)の定義や原因疾患について調べる
2. 診断の進め方を述べるができるようになる

6/30（水） 4限

【単元】

[けいれん](#)

【講義担当者】

安元 眞吾 （神経精神医学）

【学習目標各論】

1. [けいれん](#)の種類とその性質を理解し，説明できる。
2. 各種[けいれん](#)の薬物療法を理解し，説明できる。

【準備学習】

7/1（木） 1限

【単元】

小児の[黄疸](#)

【講義担当者】

水落 建輝（小児科）

【学習目標各論】

1. [黄疸](#)の診断の進め方（問診、診察所見、検査）
2. [黄疸](#)の年齢別好発疾患と頻度

【準備学習】

予習：[胆道閉鎖症](#)とはどんな病気か、診断は、治療は、鑑別疾患には何があるか予習しておく。

7/1（木） 2限

【単元】

小児の[下痢](#)

【講義担当者】

水落 建輝（小児科）

【学習目標各論】

1. 乳幼児感染性[下痢](#)の代表的原因ウイルス，細菌の理解。
2. 小児[下痢](#)症の主な原因，診断的アプローチ。
3. 難治性[下痢](#)症の定義の理解。
4. 栄養素の吸収部位の理解。
5. 代表的な[吸収不全](#)とその病態生理の理解。

【準備学習】

予習：小児の急性[下痢](#)、慢性[下痢](#)を来す疾患について鑑別を予習しておく

復習：小児の急性[下痢](#)、慢性[下痢](#)について、年齢による鑑別を行い、代表的な疾患について詳しく知る。

7/1（木） 3限

【単元】

胸痛

【講義担当者】

佐々木 健一郎 （心臓・血管内科）

【学習目標各論】

1. 胸痛の原因と病態を説明できる。
2. 胸痛患者の診断の要点を説明できる。
3. 胸痛患者に対する初期治療を概説できる。

【準備学習】

講義内容の復習

7/1（木） 5限

【単元】

腰背部痛

【講義担当者】

佐藤 公昭 （整形外科）

【学習目標各論】

腰背部痛をきたす疾患について述べることができる。

【準備学習】

予習：[腰痛](#)をきたす疾患において調べておく

復習：[腰痛](#)疾患の症状について理解を深める

7/1（木） 6限

【単元】

[外傷](#)・[熱傷](#)

【講義担当者】

王丸 陽光 （形成外科）

【学習目標各論】

基本的な皮膚、軟部組織の構造と創傷治癒の過程について説明できる。

[外傷](#)の分類とその組織障害の特徴のついて説明できる。[熱傷](#)に関してはその治療方法について説明できる。

【準備学習】

皮膚、軟部組織の構造とその医学的名称を理解しておく。

7/2（金） 5限

【単元】

意識障害・[失神](#)

【講義担当者】

馬渡 一寿 （心臓・血管内科）

【学習目標各論】

1. 循環調節機序を理解し、説明できる。
2. 意識障害・[失神](#)の原因を列挙し、その病態を説明できる。
3. 意識障害の程度評価（コーマ・スケール）を説明できる。
4. [失神](#)の鑑別診断に用いる検査法を理解し、説明できる。
5. 意識障害・[失神](#)をきたした患者の診断の要点を説明できる。
6. 意識障害・[失神](#)をきたした患者の治療を概説できる。

【準備学習】

内科学（第10版） 朝倉書店 内科学 文光堂

※各疾患については該当箇所を参照

7/2（金） 6限

【単元】

浮腫

【講義担当者】

新山 寛 （心臓血管内科）

【学習目標各論】

1. 全身浮腫と局所性浮腫の原因と病態を説明できる。
2. 浮腫をきたした患者の診断と治療の要点を説明できる。

【準備学習】

内科学（第8版）朝倉書店 p 156－158、内科学 文光堂 p 498－499

7/5（月） 1限

【単元】

[便秘](#)・[下痢](#)

【講義担当者】

光山 慶一 （消化器内科）

【学習目標各論】

1. 排便の機序を説明できる。
2. [下痢](#)と[便秘](#)の機序を説明できる。
3. [下痢](#)と[便秘](#)の代表的疾患を説明できる。

【準備学習】

朝倉内科学 I 巻 P64～P68 15分

7/5（月） 2限

【単元】

[下血](#)・[吐血](#)

【講義担当者】

光山 慶一 （消化器内科）

【学習目標各論】

1. [吐血](#)，[下血](#)をきたす疾患を挙げることができる。
2. [吐血](#)，[下血](#)をきたした患者の病歴をとることができる。
3. [吐血](#)，[下血](#)をきたした患者の病態を理解し，診察を行うことができる。
4. [吐血](#)，[下血](#)をきたした患者に対する検査の進め方を述べることができる。
5. [吐血](#)，[下血](#)をきたす疾患の治療法を簡単に述べることができる。

【準備学習】

朝倉内科学 I 巻

P199～P203 15分

7/5（月） 5限

【単元】

[血尿](#)・排尿異常

【講義担当者】

江口 善朗 （泌尿器科）

【学習目標各論】

1. [血尿](#)の種類，疾患，病態について説明する。
2. 排尿の異常について種類を挙げ，その定義，疾患を説明する。

【準備学習】

予習

- ・ [血尿](#)の原因
- ・ 頻尿の原因
- ・ 排水障害の種類

復習時間

(1時間)

7/5（月） 6限

【単元】

物忘れ

【講義担当者】

柳本 寛子 （神経精神医学）

【学習目標各論】

もの忘れを来す疾患の特徴を理解し、診断や鑑別診断と病態に応じた治療について説明できる。

【準備学習】

[健忘](#)や記憶障害を中心とした[認知症](#)などについて予習する。

7/5（月） 7限

【単元】

ショック

【講義担当者】

本間 丈博 （心臓・血管内科）

【学習目標各論】

1. ショックの定義，原因と病態を説明できる。
2. ショック患者の診断と検査の要点を列挙できる。
3. ショックの治療を概説できる。

【準備学習】

ショックの種類、その病態と鑑別法について予習・復習のこと

7/6（火） 1限

【単元】

[血尿](#)・[蛋白尿](#)

【講義担当者】

深水 圭 （腎臓内科）

【学習目標各論】

1. 3つのタイプのタンパク尿（糸球体性・尿細管性・Overflow型）について説明できる。
2. 乏尿・無尿・多尿などの言葉の意味を成立機序に基づいて説明できる。
3. タンパク尿・尿量異常から原因診断を導くことができる。

【準備学習】

朝倉内科学書（第10版）

P74～76

P115～119

P61

P1383

7/6（火） 2限

【単元】

[肥満](#)、メタボリックシンドローム

【講義担当者】

野村 政寿 （内分泌代謝内科）

【学習目標各論】

1. [肥満](#)と[やせ](#)の定義を述べ、それぞれの原因を列举できる。
2. 脂肪分布と病態との関連を説明できる。
3. メタボリックシンドロームの診断基準を述べ、その病態を説明できる。

【準備学習】

朝倉内科学第10版

P83～86

7/6（火） 5限

【単元】

小児の発熱・発疹

【講義担当者】

田中 悠平（小児科）

【学習目標各論】

1. 小児の発熱の病態生理を説明できる。
2. 局所症状のない発熱，不明熱について理解し，診断のアプローチを概説できる。
3. 小児の発疹症について，代表的な疾患を列举でき，原因，発疹の性状，診断の要点を説明できる。

【準備学習】

予習：標準小児科学第8版第15章「感染症」を読んでおく。

復習：小児感染症の特徴を理解し、身体所見のとり方、適切な検査、そして診断と鑑別、治療について説明できる。

7/6（火） 6限

【単元】

関節痛・関節腫脹

【講義担当者】

久米 慎一郎

【学習目標各論】

関節痛、関節腫脹を主体とした症状を発症する主なる関節疾患について、その病態および手術を含めた治療について述べ、最近の知見を知る。

【準備学習】

7/7（水） 1限

【単元】

婦人科的腹部膨隆・腫瘍・腹痛

【講義担当者】

津田 尚武（産婦人科）

【学習目標各論】

1. 婦人科的腹部膨隆・腫瘍，腹痛 の原因と病態を説明できる。

2. 婦人科的腹部膨隆・腫瘍，腹痛 のある患者の診断の要点を説明できる。

【準備学習】

婦人科領域での下腹部膨隆、下腹痛を来たす代表的疾患を学ぶ。診断に至るアプローチを理解できるようにする。

7/7（水） 2限

【単元】

月経異常

【講義担当者】

三嶋 すみれ （産婦人科）

【学習目標各論】

1. 排卵が起こる機序を説明できる。
2. 月経異常の内容と原因について述べることができる。
3. 月経異常の治療について理解する。

【準備学習】

第3学年生殖器系での講義内容や参考書の中から、SBO該当項目を抽出して予習する。

7/7（水） 3限

【単元】

[不安・抑うつ](#)

【講義担当者】

堀川 直希 （神経精神医学）

【学習目標各論】

身体的な基礎疾患（慢性疾患やがんなど）と、[不安・抑うつ](#)との関連や影響について説明できる。

[不安・抑うつ](#)に伴って心身両面に生じる症状について説明できる。

[不安・抑うつ](#)が身体症状にも影響を与える病態モデルについて説明できる。

[不安・抑うつ](#)を鑑別診断した上で、対処方法について説明できる。

【準備学習】

精神科の講義で学んだ、[不安](#)障害や気分障害の復習をしておく。

扁桃体や視床下部・下垂体・副腎などのHPA仮説について予習する。

各個人で[不安](#)が生じたり気分が落ち込む時を想像し、どのように対応してほしいか考えておく。

7/7（水） 7限

【単元】

特別講義

【講義担当者】

京都大学呼吸器外科 伊達 洋至先生

7/8（木） 1限

【単元】

腹痛

【講義担当者】

久下 亨（外科）

【学習目標各論】

1. 腹痛の原因と病態生理・分類を説明できる。
2. 腹痛患者の診断・鑑別診断ができる。
3. [急性腹症](#)を概説できる。
4. 治療方針を理解する。

キーワード：腹痛、[急性腹症](#)、手術適応

【準備学習】

標準外科学（第14版） p128-p137

7/8（木） 2限

【単元】

[悪心・嘔吐](#)

【講義担当者】

久下 亨

【学習目標各論】

1. [悪心・嘔吐](#)の原因と病態生理を説明できる。
2. [悪心・嘔吐](#)を訴える患者の診断・鑑別診断ができる。
3. [悪心・嘔吐](#)をきたす治療方針を理解する。

キーワード：[悪心](#)・[嘔吐](#)、治療方針

【準備学習】
内科学（朝倉書店 第10版） p54-p58

7/8（木） 3限

【単元】

腹部膨隆・腫瘍

【講義担当者】

久下 亨（外科）

【学習目標各論】

1. 腹部膨隆(腹水を含む)・腫瘍の原因と病態生理を説明できる。
2. 腹部膨隆(腹水を含む)・腫瘍のある患者の診断の要点を説明できる。
3. 部位による鑑別ができる。

【準備学習】

腹水をきたす疾患の列挙（予習）

イレウスの原因と分類について（予習）

7/8（木） 4限

【単元】

[食欲不振](#)

【講義担当者】

青柳 慶史朗（外科）

【学習目標各論】

1. [食欲不振](#)をきたす原因と病態生理を説明できる。
2. [食欲不振](#)を訴える患者の診断・鑑別診断ができる。

【準備学習】

シラバスの熟読

7/8（木） 5限

【単元】

チアノーゼ

【講義担当者】

籠手田 雄介 （小児科）

【学習目標各論】

1. チアノーゼの意義，病態を説明できる。
2. 中枢性と末梢性チアノーゼの違いを説明できる。
3. チアノーゼ性先天性心臓病の代表的疾患を説明できる。
4. アイゼンメンジャー症候群・肺高血圧症について説明できる。

【準備学習】

標準小児科学（第8版）第17章循環器疾患を予習・復習しておく。

7/8（木） 6限

【単元】

[黄疸](#)

【講義担当者】

川口 巧 （消化器内科）

【学習目標各論】

1. [黄疸](#)の原因と病態を説明できる。
2. [黄疸](#)患者の診断と治療の要点を説明できる。

【準備学習】

ビリルビン代謝

[黄疸](#)の出現様式

[黄疸](#)患者の身体所見・血液・尿

画像検査所見

[黄疸](#)をきたす疾患

試験問題・解答（本試験）

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト)
Home

- 日本語 (ja)
- English (en)
- 日本語 (ja)

モバイルアプリを取得する

2021 腫瘍学

[ダッシュボード](#) / [マイコース](#) / [2021年度](#) / [2021年度・医学科](#) / [1学期](#) / [4年](#) / [2021 腫瘍学](#)

腫瘍学

【統括責任者】

長藤 宏司

【何を学ぶか】

腫瘍の病態、診断と治療を学ぶ。

【獲得すべき能力（全体）】

【獲得すべき能力（個別）】

定義・病態

- ①腫瘍の定義と病態を説明できる。
- ②腫瘍の症候を説明できる
- ③腫瘍のグレード、ステージを概説できる。

診断

- ①腫瘍の検査所見を説明できる。
- ②腫瘍の画像所見や診断を説明できる。
- ③腫瘍の病理所見や診断を説明できる。

治療

- ①腫瘍の集学的治療を概説できる。
- ②腫瘍の手術療法を概説できる。
- ③腫瘍の放射線療法を概説できる。
- ④腫瘍の薬物療法（殺細胞性抗癌薬、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬）を概説できる。
- ⑤腫瘍の生物学的療法を概説できる。
- ⑥腫瘍における[支持療法](#)を概説できる。
- ⑦腫瘍における緩和ケアを概説できる。

治療の基本的事項

- ①腫瘍の診療におけるチーム医療を概説できる。
- ②腫瘍の診療における生命倫理（バイオエシックス）を概説できる。
- ③腫瘍性疾患をもつ患者の置かれている状況を深く認識できる。

各論

- ①血液・造血器・リンパ系：急性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄[異形成](#)症候群<MDS>、成人 T 細胞白血病、真正赤血球増加症、本態性血小板血症、骨髄線維症、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫
- ②神経系：脳・脊髄腫瘍、転移性脳腫瘍
- ③皮膚系：皮膚良性腫瘍、皮膚悪性リンパ腫、血管肉腫、基底細胞上皮腫(癌)、[扁平上皮癌](#)、悪性黒色腫
- ④運動器（筋骨格系）：転移性脊椎腫瘍、骨肉腫
- ⑤循環器系：粘液腫
- ⑥呼吸器系：肺癌、転移性肺腫瘍、縦隔腫瘍、胸膜中皮腫
- ⑦消化器系：食道癌、胃癌、大腸ポリープ、大腸癌、胆嚢・胆管癌、原発性肝癌、膵内分泌腫瘍、嚢胞性膵腫瘍、膵癌
- ⑧腎・尿路系：腎癌、膀胱癌を含む尿路上皮癌
- ⑨生殖機能：前立[腺癌](#)、精巣腫瘍、子宮頸癌、子宮体癌（子宮内膜癌）、卵巣腫瘍（卵巣癌、卵巣嚢腫）、絨毛性疾患（胞状奇胎、絨毛癌）
- ⑩乳房：原発性乳癌
- ⑪内分泌・栄養・代謝系：甲状腺腫瘍（腺腫様甲状腺腫、甲状腺[腺癌](#)）、褐色細胞腫
- ⑫眼・視覚系：網膜芽細胞腫
- ⑬耳鼻・咽喉・口腔系：舌癌、咽頭癌、喉頭癌
- ⑭小児腫瘍：神経芽腫

【身に着けてほしい能力】

【評価方法】

講義への出席率ならびに試験

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

【問い合わせ】

内科学（血液・腫瘍内科部門）講座医局 内線3545

 [質疑応答掲示板](#)

 [科目DB](#)

 [指定・参考図書](#)

 [英語DB](#)

 [用語集](#)

 [科目評価（新）](#)

6/28（月） 5限

【単元】

がんの診断法

【講義担当者】

古賀 浩徳

【学習目標各論】

腫瘍の画像診断を概説できる

腫瘍の遺伝子診断を概説できる。

[腫瘍マーカー](#)の意義を説明できる。

悪性腫瘍の病期分類を概説できる。

【準備学習】

画像診断：超音波，内視鏡，CT，MRI，血管造影，PETについて概説します。Warburg効果について調べておこう。

遺伝子診断：BCR-ABL, EGFR, KRAS, HER2などの遺伝子変異を調べることは，診断や治療に有用である。

[腫瘍マーカー](#)：糖鎖について少し知っておくとよい。

当日，資料配付予定。

6/28（月） 6限

【単元】

がんの浸潤と転移

【講義担当者】

矢野 博久

【学習目標各論】

1. がんの浸潤過程と浸潤に関与する因子を説明できる。
2. がんの転移過程とそれぞれの過程に関与する因子を説明できる。

【準備学習】

標準病理学第4版 ⑨腫瘍-II 癌の広がり方と[進行度](#)-A癌の広がり方の所と、V腫瘍の生物学-D癌の転移の所を予習復習に使用してください。

6/28 (月) 7限

【単元】

がんの放射線療法

【講義担当者】

淡河 恵津世

【学習目標各論】

1. がんの治療の中で放射線治療の役割を学ぶ。さらに、その方法、適応や効果、ならびに副作用や合併症について学ぶ
外科治療との違い・定位放射線治療・IMRT・粒子線治療

【準備学習】

講義時の配布資料で復習の事

6/29 (火) 5限

【単元】

[がん遺伝子](#)がん抑制遺伝子

【講義担当者】

大島 孝一

【学習目標各論】

1. がんに関連する遺伝子([がん遺伝子](#)とがん抑制遺伝子)の変化を概説できる。
2. 腫瘍と[染色体](#)異常の関係を概説できる。

【準備学習】

[染色体](#)異常、癌遺伝子、癌抑制遺伝子について具体的に挙げて復習をする。

イニシエーション、プロモーション、プログレッション

6/29 (火) 6限

【単元】

がん序論

【講義担当者】

秋葉 純

【学習目標各論】

1. 腫瘍の定義を説明できる。
2. 組織の再生と修復や肥大、増生、[化生](#)、[異形成](#)と退形成を説明できる。

3. 良性腫瘍と悪性腫瘍の違いを説明できる。
4. 上皮性腫瘍と非上皮性腫瘍の違いを説明できる。

【準備学習】

授業内容復習

6/30（水） 5限

【単元】

がんの統計

【講義担当者】

古川 恭治

【学習目標各論】

1. 悪性腫瘍の統計学を概説できる。

【準備学習】

6/30（水） 6限

【単元】

がん免疫と免疫療法

【講義担当者】

小松 誠和

【学習目標各論】

1. 腫瘍の生物学的療法を概説できる
 - ・ 免疫系はどのようにがん細胞を認識し反応するのか説明できる。
 - ・ がん細胞はどのように免疫から逃避するのか説明できる。
 - ・ がん治療における免疫学的アプローチについて説明できる。

【準備学習】

がんの3大治療法（外科的切除、放射線療法、化学療法）に加え、第4のがん治療法として免疫療法が近年注目を集めています。この授業では免疫の観点から腫瘍の生物学的療法について概要を紹介します。2年次に受講していただいた免疫学講義における関連の内容を思い出し、知識を深めることを期待しています。

7/1（木） 4限

【単元】

がんの臨床試験

【講義担当者】

三輪 啓介

【学習目標各論】

1. 臨床試験の種類と目的を概説できる。
2. 生命倫理と医療倫理を概説できる。
3. 関連する過去の国家試験問題を解答できる。

倫理、臨床試験

【準備学習】

7/2（金） 3限

【単元】

ウイルスと発がん

【講義担当者】

原 好勇

【学習目標各論】

1. 癌ウイルスを列挙できる。
2. ウイルスによる発癌のメカニズムを説明できる。

【準備学習】

当日プリントを配布します。

7/2（金） 4限

【単元】

がんの疫学と予防

【講義担当者】

鳥村 拓司

【学習目標各論】

1. 悪性腫瘍の疫学を概説できる。
2. 悪性腫瘍の予防（検診を含む）を概説できる。

【準備学習】

7/5（月） 4限

【単元】

がんの外科治療

【講義担当者】

赤木 由人

【学習目標各論】

1. 悪性腫瘍の手術療法を概説できる。
2. 悪性腫瘍の術前・術後管理について概説できる。

【準備学習】

7/6（火） 3限

【単元】

がんの化学療法

【講義担当者】

長藤 宏司

【学習目標各論】

1. 腫瘍の化学療法を概説できる。

インフォームド・コンセント、標準治療

【準備学習】

入門腫瘍内科学 5 がんの治療

7/6（火） 4限

【単元】

がんの分子標的療法

【講義担当者】

長藤 宏司

【学習目標各論】

1. 腫瘍の集学的治療を概説できる。

【準備学習】

入門腫瘍内科学 5 がんの治療

7/6（火） 7限

【単元】

がんと精神

（サイコオンコロジー、せん妄、気持ちのつらさ）

【講義担当者】

小曽根 基裕

【学習目標各論】

1. 腫瘍における[支持療法](#)を概説できる。

2. 腫瘍における緩和療法を概説できる。

【準備学習】

日本医師会編 がん緩和ケアガイドブック p70－p76 p88－p92

7/7（水） 5限

【単元】

がんと痛み

【講義担当者】

山田 信一

【学習目標各論】

1. 腫瘍による痛みの分類が行える。
2. 腫瘍による痛みの緩和療法を概説できる。

【準備学習】

授業内容復習

7/7（水） 6限

【単元】

がんと痛み 症状緩和

【講義担当者】

山田 信一

【学習目標各論】

1. 腫瘍による痛みの支持・緩和療法を概説できる。
2. 腫瘍における様々な身体症状の支持・緩和療法を概説できる。

【準備学習】

学習内容復習

試験問題・解答（本試験）

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト)

[Home](#)

[日本語 \(ja\)](#)

[English \(en\)](#)

[日本語 \(ja\)](#)

[モバイルアプリを取得する](#)

2021 臨床技能統括実習（講義含む）

[ダッシュボード](#) / [マイコース](#) / [2021年度](#) / [2021年度・医学科](#) / [実習](#) / [4年](#) / [2021 臨床技能統括実習（講義含む）](#)

臨床技能統括実習(講義含む) （詳細決定しましたら提示します）

【統括責任者】

谷脇 考恭

【何を学ぶか】

臨床実習開始前に、学生が卒業時の目標をめざして診察や実技等に関する基本知識を修得し、シミュレータ、模擬患者、学生同士の相互実習（模擬診療）等により学ぶ

診察の第一歩は、患者の訴えに十分に耳を傾け、不十分な所は質問して補い、完全な形で主訴を聞き出すことから始まる。主訴の病態が何時から、どういうふうになり、どういう経過を取って、いまどうなっているのかを注意深く、しかも要領よく聞き取る。これを医療面接と言っている。

次いで全身状態、個別徴候の理学的所見を取る。理学的所見は、視覚（視診）聴覚（聴診）触覚（触診）嗅覚（呼気臭）などを全て動員し、また簡単な診察道具を用いて得られる。主訴と直接関係のないと思われる所見も、特異なものは洩れなく取り上げ、カルテに記載する。

理学的所見には、医療機器などを用いて得られた検査所見と、絶えず照合し確認し合うことにより、相当に高度な情報源となることが知られている。

理学的所見の素晴らしいところは、昼夜を問わず何時でも、場所を問わず何処でも我々の五官を使って得られる事であろう。また必要なら、何回でも繰り返して実施でき、しかも患者に肉体的、経済的負担を与えない手技でもある。優れた臨床医の診察は芸術に近い。

臨床技能統括実習は、これらの医療面接や理学的所見の基本を学び、その技術を身につける時間である。更には、臨床実習に備える準備期間でもある。医師の服装、言動、態度、職業上の守秘義務なども臨床技能統括実習で先輩医師から学ぶべき大切な事項である。

医師として、片時も忘れてならないことは、『人が人を診ることに畏れをもって行う』事であろう。謙虚な姿勢と生涯学習が医師ほど求められている職業はない。

臨床技能統括実習は、その第一歩となる重要なカリキュラムであり、臨床実習の基礎でもある。

【獲得すべき能力（全体）】

- (1) 患者の問題を正しく把握し、診断・検査計画を作成する上に必要な患者からの情報を会得するための基本的技能を身につける。
- (2) 患者に対して、医学的立場のみならず、心理的、社会的要因を含む広い立場から理解する能力を養う。
- (3) 診療上望ましい医師—患者関係を得るために必要な基本的態度を身につける。
- (4) 問題の発見、解決を自ら行う臨床医としての科学的態度を身につけるための技能を学ぶ。

【獲得すべき能力（個別）】

医学教育モデル・コア・カリキュラムの[基本的診療技能](#)を参照してください。

【身に着けてほしい能力】

臨床研修医として医療の現場で即戦力となるレベルのスキルを取得して欲しい。

【評価方法】

実習態度、出席状況及び最終試験の成績を基に総合評価を行う。

【問い合わせ】

各教室の医局へ

 [質問応答掲示板](#)

 [科目DB](#)

 [指定・参考図書](#)

 [英語DB](#)

 [用語集](#)

 [基本的診療技能](#)

時間割（実演、実習 1）

利用できません。

講義変更、担当者の変更について

利用できません。

注意事項 と 準備

利用できません。

共用試験実施評価機構提示資料

利用できません。

参考図書を追加しました

利用できません。

10/2（金）1限

利用できません。

10/2（金）2限

利用できません。

10/2（金）4限

利用できません。

10/2（金）5限

利用できません。

10/2（金）6限

利用できません。

10/5（月）2限

利用できません。

10/5（月）3限

利用できません。

10/5（月）4限

利用できません。

10/5（月）5限

利用できません。

10/5（月）6限

利用できません。

10/5（月）7限

利用できません。

10/6（火）6限

利用できません。

10/6（火）7限

利用できません。

10/6（火）8限

利用できません。

映像提示のみ

利用できません。

資料提示のみ シラバス参照

【単元】

実演ⅩⅡ 診療録の記載

【講義担当者】

長井 孝二郎

【学習目標各論】

【準備学習】

10/7（水）～10/21（水）

利用できません。

10/22（木） 10/23（金）

OSCE受験に伴い自己学習を行ってください。

ただし、クリニカルスキル・トレーニングセンターの利用は制限されます。

10/23（金）13：30～OSCEのオリエンテーションを実施します。

1401・1402

10/2（金）2限

利用できません。

10/2（金）7、8限

利用できません。

10/5（月）1限

利用できません。

10/5（月）8限

利用できません。

10/6（火）1～5限

利用できません。

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト)

Home

- 日本語 (ja)
- English (en)
- 日本語 (ja)

モバイルアプリを取得する

2021 PCCE(Pre-Clinical Clerkship Exercise)

[ダッシュボード](#) / [マイコース](#) / [2021年度](#) / [2021年度・医学科](#) / [2学期](#) / [4年](#) / [2021 PCCE\(Pre-Clinical Clerkship Exercise\)](#)

PCCE(Pre-Clinical Clerkship Exercise)

【統括責任者】

牛嶋 公生

【何を学ぶか】

チームの一員として医療行為に参加する際の望ましい態度、能動的学習態度を身に着ける。

【獲得すべき能力（全体）】

4年生までの講義や実習で学んだ知識をより実践的なものに整理、統合し、今後始まる臨床現場での参加型実習クリニカルクラークシップにおいて、より能動的に質の高い学習が得られるように準備しておく。

【獲得すべき能力（個別）】

[医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版（PCCCE）](#) 参照

【身に付けてほしい能力】

1. 主訴、現病歴、身体所見、検査データから鑑別すべき疾患を挙げることができる。
2. 患者の基礎疾患、合併症、社会的背景なども総合的に判断して、行うべき治療方針を整理してプレゼンできる。
3. 病院全体の機能や複数の職種で患者さんの治療あたるチーム医療の重要性を理解する。
4. 疾患に関する過去の報告など論文を読み取る能力を身に着け、症例を報告することの重要性を理解する。

【評価方法】

各単元ごとの担当者が評価し、統括責任者が総合的に評価する。

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

【問い合わせ】

 [質疑応答掲示板](#)

 [科目DB](#)

 [指定・参考図書](#)

 [英語DB](#)

 [用語集](#)

 [科目評価（新）](#)

 [医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版（PCCCE）](#)

お知らせ

期間：令和3年9月29日（水）～10月15日（金）

授業内容については、決まり次第お知らせいたします。

[Home](#)

- [日本語 \(ja\)](#)
- [English \(en\)](#)
- [日本語 \(ja\)](#)

[モバイルアプリを取得する](#)